# RTE for WIN32

インストール・マニュアル (Rev.7.0)

Midas lab

実施日	Revision	章	内容	
2000年03月11日	4.0		RTE4W32 Ver.5.0 対応(初版)	
2002年01月10日	4.1		Windows XP 対応(RTE4W32 Ver5.05 対応)	
2002年10月29日	4.2		オプション・ボタン対応(RTE4W32 Ver5.07 対応)	
2003年12月01日	4.3		RTE-2000-TP 用 RTE-LAN/USB I/F に対応(RTE4W32	
			Ver5.11 対応)	
2006年01月05日	5.0		RTE-2000H-TP に対応(RTE4W32 Ver6.00.00 以降対応)	
2007年07月30日	6.0		Windows Vista 対応(RTE4W32 Ver7.00.00 以降対応)	
2011年06月01日	7.0		Windows 7 対応(RTE4W32 Ver8.00.00 以降対応)	

—— 改訂履歴 ——



1.	はじめに	5
	1.1. インストール	5
	1.2. アンインストール	6
	1.3. Windows 7, Windows Vistaと他のOSとの違い	6
	1.4. Windows 7 64 ビット版のサポート	7
2.	インストール手順	8
3.	アンインストール手順	11
4.	設定と接続確認	13
	4.1. インストール後の状態	13
	4.2. ライセンス・キーとは	13
	4.3. Check RTE2	14
	4.4. RTE-xxxx-IE/ RTE-xxxx-TP / RTE-xxxx-NBD / RTE-xxxx-IDB/NBDの設定	16
	4.5. RTE-xxxx-PC / RTE-xxxx-CBの設定	17
	4.6. ライセンスの設定	18
5.	デバイスドライバについて	19
	5.1. Windows 7.32 ビット環境におけるPC-CARDドライバの組込み	19
	5.1.1. Windows 7 32 ビット環境におけるPC-CARDドライバの組込み手順	19
	5.1.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	21
	5.2. Windows 7 32 ビット環境におけるPCIドライバの組込み	22
	5.2.1. Windows 7 32 ビット環境におけるPCIドライバの組込み手順	22
	5.2.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	24
	5.3. Windows 7 環境におけるUSBドライバの組み込み	25
	5.3.1. Windows 7 環境におけるUSBドライバの組み込み手順	25
	5.3.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	27
	5.4. Windows Vista環境におけるPC-CARDドライバの組込み	28
	5.4.1. PC-CARDインターフェースを初めてスロットに挿した場合	28
	5.4.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み	31
	5.4.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	32
	5.5. Windows Vista環境におけるPCIドライバの組込み	34
	5.5.1. PCIボードを初めてPCIバスに挿してWindowsを起動した場合	34
	5.5.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み	37
	5.5.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	38
	5.6. Windows Vista環境におけるUSBドライバの組み込み	39
	5.6.1. USB経由で初めてホストに接続した場合	
	5.6.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み	
	5.6.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	40
	5.7. Windows XP環境におけるPC-CARDドライバの組み込み	41
	5.7.1. PC-CARDインターフェースを初めてスロットに挿した場合	41
		-

5.7.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み	43
5.7.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	, 44
5.7.4. KMC社製PC-CARDドライバ	, 45
5.8. Windows XP環境におけるPCIドライバの組み込み	. 49
5.8.1. PCIボードを初めてPCIバスに挿してWindowsを起動した場合	, 49
5.8.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	51
5.8.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	52
5.9. Windows XP環境におけるUSBドライバの組み込み	. 53
5.9.1. USB経由で初めてホストに接続した場合	. 53
5.9.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み	53
5.9.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	54
5.10. Windows98 環境におけるPC-CARDドライバの組み込み	55
5.10.1. PC-CARDインターフェースを初めてスロットに挿した場合	55
5.10.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	, 58
5.10.3.ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	. 59
5.11.Windows98 環境におけるPCIドライバの組み込み	. 60
5.11.1.PCIボードを初めてPCIバスに挿してWindowsを起動した場合	. 60
5.11.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	. 63
5.11.3.ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	. 64
5.12. Windows98-Second Edition(-SE)環境におけるUSBドライバの組み込み	65
5.12.1. USB経由で初めてホストに接続した場合	65
5.12.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	. 67
5.12.3. ドライバが組み込みに異常がある場合	. 67
5.13. Windows 2000 環境におけるPC-CARDドライバの組み込み	. 69
5.13.1. PC-CARDインターフェースを初めてスロットに挿した場合	. 69
5.13.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	. 72
5.13.3.ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	, 73
5.13.4. KMC社製PC-CARDドライバ	. 74
5.14. Windows 2000 環境におけるPCIドライバの組み込み	. 78
5.14.1. PCIボードを初めてPCIバスに挿してWindowsを起動した場合	. 78
5.14.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み	81
5.14.3.ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	. 82
5.15. Windows 2000 環境におけるUSBドライバの組み込み	. 83
5.15.1. USB経由で初めてホストに接続した場合	. 83
5.15.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み	. 83
5.15.3.ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合	. 84
5.16. Windows 95 の見分け方	85
5.17. Windows 95(否OSR2)環境におけるPC-CARDドライバの組み込み	. 85
5.18. Windows 95(否OSR2)環境におけるPCIドライバの組み込み	87
5.19. Windows 95(OSR2)環境におけるPC-CARDドライバの組み込み	. 88
5.20. Windows 95(OSR2)環境におけるPCIドライバの組み込み	. 92
5.21.Windows XP, Windows 2000 およびWindows NT 4.0 環境におけるRTE I/Oドライバの組み込み.	. 96
5.22. Windows NT 4.0 環境におけるRTE PC-CARDドライバの組み込み	. 96
5.23. Windows NT 4.0 環境におけるPC-CARDインターフェースの制限事項	. 96

5.24. PC-CARDが認識されない時のヒント(Windows 95/98)	98
5.24.1. 『新しいハードウェア』ダイアログが表示されない	98
5.24.2. PC-CARDを挿すと『ブーッ』という音がする	98
6. エラーメッセージと対策	99

# 1. はじめに

本書は、RTE for WIN32 のインストール方法について記述しています。インストールは、 Microsoft 社の Windows 7 (32 ビット), Windows 7 (64 ビット), Windows Vista, Windows XP Professional, Windows XP Home Edition, Windows98, Windows 2000, Windows 95 および Windows NT 4.0 (x86) が搭載されている PC を対象とし、ディスク容量は 70M バイト程度の空き容量が必 要です。

尚、当該ソフトウェアはRTEシリーズ共通のソフトウェアです。本書もRTEシリーズ共通 として記述されていますので、個々の製品固有の設定等は、それぞれの製品のマニュアルを参照 してください。



## 1.1. インストール

RTE for WIN32 のインストール CD-ROM には、専用のインストール・コマンド (setup.exe) が 付属しています。RTE for WIN32 の DLL (ダイナミック・リンク・ライブラリ) をインストール するには、このプログラムを実行してください。setup.exe は以下の処理を行います。

- rte4w32.dll と rte4w32.ini を Windows ディレクトリにコピーします(\*1)。
- RTE for WIN32 用のディレクトリを作成し、その他 DLL やプログラムをコピーします。
- スタートメニューの「プログラム」に「RTE for Windows」メニューが追加され、「Check RTE2」のショートカットが生成されます。
- Windows 7 (32 ビット), Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 および Windows NT 4.0 環境では、RTE I/O ドライバがインストールされます。また、Windows NT 4.0 環境では、 RTE PC-CARD ドライバもインストールされます(RTE PC-CARD ドライバのインストー ルを選択した場合のみ)。
- Windows 7 (32 ビット), Windows Vista, Windows XP および Windows 2000 環境では、RTE for WIN32 のフォルダに PC-CARD 用と PCI ボード用のドライバと INF ファイルがコピーさ れます。
- Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 および Windows 98 環境では、RTE for WIN32 のフォルダに USB 用のドライバと INF ファイルがコピーされます。

インストールは、なるべく RTE for WIN32 専用のディレクトリを作成する ようにしてください。これは、安全にアンインストールできるようにするた めです。



## 1.2. アンインストール

RTE for WIN32 のインストール・コマンド (setup.exe) により RTE for WIN32 をアンインスト ールできます。アンインストールは Windows ディレクトリ下の rte4w32.dll と rte4w32.ini(\*1)を削 除し、RTE ディレクトリの RTE 関連ファイルを全て削除します。ただし、Windows ディレクト リ下の rte4w32.lic と rte4w32.key は登録されたライセンスが記録されているので削除しません (\*2)。

Windows 7 (32 ビット), Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 および Windows NT 4.0 環境 では、RTE I/O ドライバの登録を削除します。また、Windows NT 4.0 環境では RTE PC-CARD ド ライバの登録も削除します。(RTE PC-CARD ドライバの削除後は、Windows NT の再起動をお勧 めします。)



## 1.3. Windows 7, Windows Vista と他の OS との違い

Windows 7, Windows Vista には、ユーザ アカウント制御(以降 UAC)機能があり、デフォルトではこの機能が有効になっています。RTE for WIN32 を他の OS と同じようにご使用頂くために、UAC 機能の有効/無効に関係なく Windows 7/Vista 上では次の点が他の OS と異なります。

- VirtualStoreの対象となるディレクトリとそのサブ・ディレクトリには、RTE for WIN32 はインストールできません。Windows 7/Vista がデフォルト状態であれば、対象となるデ ィレクトリは、C:¥Windows, C:¥Program Files, C:¥ProgramDataの3つです。
- 他のOSではWindowsディレクトリに作成されるrte4w32.iniが、Windows 7/VistaではRTE for WIN32のインストール先ディレクトリに作成されます。Windowsディレクトリには、 rte4w32.iniの代わりにrte4w32v.iniが作成されます。
- ライセンス保存ファイル (rte4w32.lic および rte4w32.key) は、他の OS では Windows ディレクトリに作成されますが、Windows 7/Vista では RTE for WIN32 のインストール先ディレクトリに作成されます。このため、アンインストール時にこれら 2 つのファイルが存在する場合、削除確認のダイアログが表示されます。

Windows 7 には RTE for WIN32 の Ver8.00.00 以降が対応しています。Windows 7 に Ver8.00.00 より前の RTE for WIN32 をインストールしてしまった場合は、RTE for WIN32 を一旦アンインス トールしてから新しい RTE for WIN32 をインストールしてください。また、Windows 7 に Ver7.00.00 より前の RTE for WIN32 をインストールしてしまった場合は、後述の Windows Vista の場合と同様に、RTE for WIN32 を一旦アンインストールしてから新しい RTE for WIN32 をイン ストールしてください。

Windows Vista には RTE for WIN32の Ver7.00.00 以降が対応しています。もし、Windows Vista

に、Ver7.00.00 より前の RTE for WIN32 をインストールしてしまった場合は、RTE for WIN32 を ー旦アンインストールしてから新しい RTE for WIN32 をインストールしてください。なお、 Windows Vista の UAC 機能が有効になっていた場合は、Windows ディレクトリの VirtualStore 内 に rte4w32.ini/rte4w32.lic/rte4w32.key が作成されており(rte4w32.lic と rte4w32.key はライセンス を登録した場合のみ作成される)、これら VirtualStore 内のファイルは RTE for WIN32 をアンイン ストールしても削除されないので、手動で削除してください。

## 1.4. Windows 7 64 ビット版のサポート

Windows 7 の 64 ビット版でのサポートでは、次の制限事項があります。

- RTE for WIN32 の Ver8.00.00 以降が対応しています。
- ISA-BUS, PCI-BUS および PC-CARD で接続するプロダクトはサポートしていません。
- RTE-xxxx-PC  $\geq$  RTE-xxxx-CB l t + l l t +
- 64 ビット・アプリケーションはサポートしていません。

# 2. インストール手順

RTE for WIN32 のインストール CD-ROM をドライブに挿入し、¥rte4w32 ディレクトリにある setup.exe を実行します。setup.exe の実行はスタートメニューの「ファイル名を指定して実行」や エクスプローラで setup.exe をダブルクリックすることで行います。

Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 および Windows NT 4.0 環境の場合は、 Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。



・Windows 7 で setup.exe 起動時に表示されるダイアログ



・Windows Vista で setup.exe 起動時に表示されるダイアログ



setup.exe を実行すると以下のダイアログ・ボックスを表示します。このダイアログ・ボックスで「インストール」を選択してください。

Windows NT 4.0 環境でホストに PC-CARD のソケットが装備されている場合は、「PC カードドライバもインストールする」チェックボックスが有効になります。PC-CARD インターフェースを Windows NT 4.0 環境で使用する場合は、このチェックボックスをチェックしてください。



・Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows 2000, Windows 95/98 もしくは Windows NT 4.0 (PC-CARD ソケットなし)

RTE for WIN32		RTE for WIN32	
Gr H	ts	<b>/</b> トアッププログラム	
RTE S	Setup Copy	right (c) 1995-199	8 Midas lab, Inc.
( 7), z.ト	-N (D	アンインストール(山)	キャンセル
E Pob	ートキテイバも1	()ストールする	

・Windows NT 4.0 (PC-CARD ソケットあり)

_	RTE for WIN32	
Gr E	セットアッププログラム	
RTE Setup	Copyright (c) 1995-199	8 Midas Iab, Inc.
( T)21-11(D)	アンインストール(山)	キャンセル
☑ POカードドラ	がもわれていまする	

 ② 次に RTE for WIN32 のインストール先のディレクトリを入力するダイアログ・ボックスを 表示します。ここでインストール先のディレクトリを指定してください。「OK」を選択す るとインストールを開始し、ファイルをコピーします。

RTE for WIN92	
インストール 先テ <sup>2</sup> ィレクトリ: <mark>の単式e4w82</mark>	
ОК <b>+</b> +>±и	
インストールは、なるべく RTE for WIN32 専用のディレー ようにしてください。これは、安全にアンインストールで めです。	ントリを作成する きるようにするた
Windows 7, Windows Vista では VirtualStore の対象となる のサブ・ディレクトリにはインストールできません。詳しく 7, Windows Vista と他の OS との違い』を参照してくださし	ディレクトリとそ くは『1.3 Windows ヽ。

「インストール」ボタンをクリックした時に下記のダイアログが表示された場合は、 Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインし直してから、再度 setup.exe を実行 してください。

RTE for WIN32
サービスコントロールマネージャをオーフンできません。アドミニストレーダ権限があるかどうか確認してください
OK]

③ 最後にデスクトップに RTE for WIN32 のフォルダが作成され「Check RTE2」アイコンが登録されます。同時にスタートメニューの「プログラム」に「RTE for Windows」メニューが追加されます。これでインストールは終了です。

RTE for WIN32	C
インストールは終了しました。	
(OK]	

Windows NT 4.0 環境で、RTE PC-CARD ドライバがインストールされると、下記のダイア ログが表示されます。この場合は、Windows NT の再起動を行ってください。

RTE for WIN32
インストールは終了しました。設定を有効にするために Windows を再起動してください
<u> </u>

# 3. アンインストール手順

RTE for WIN32 のインストール CD-ROM をドライブに挿入し、¥rte4w32 ディレクトリにある setup.exe を実行します。setup.exe の実行はスタートメニューの「ファイル名を指定して実行」や エクスプローラで setup.exe をダブルクリックすることで行います。

Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows 2000 および Windows NT 4.0 環境の場合は、 Administrator 権限を持つユーザ(管理者) でログインしてください。

> Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

setup.exe を実行すると以下のダイアログ・ボックスを表示します。このダイアログ・ボックスで「アンインストール」を選択してください(「PC カードドライバもインストールする」チェックボックスは、チェックされていてもされていなくても構いません)。

RTE	for WIN32
	RTE for WIN32
	です。 生 セットアッププログラム
	RTE Setup Copyright (c) 1995-1998 Midas lab, Inc.
	【1)ストール①】 アンインストール( <u>U</u> ) キャンセル
	PCカードヤライバモイクストールする

② 現在インストールされているディレクトリを表示します。「OK」を選択するとそのディレクトリ下の setup.exe がインストールした全てのファイルと Windows ディレクトリ下の rte4w32.dll と rte4w32.ini を削除します。

「アンインストール」ボタンをクリックした時に下記のダイアログが表示された場合は、 Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインして setup.exe を実行してください。



③ アンインストール後、再度インストールする場合は、「2. インストール手順」から始めて ください。

RTE for WIN32	×
アンインストールは終了しました	ž.
ОК	

アンインストールを行う場合は、RTE を使用するすべてのアプリケーションの 実行を終了してから行ってください。RTE を使用中のアプリケーションの実行 中にアンインストールを行うと、アンインストールが正常に終了しないだけで なく、予期せぬエラーが発生することがあります。また、Windows NT 4.0 環境 で、RTE PC-CARD ドライバを使用していた場合は、アンインストール後に Windows NT の再起動をお勧めします。

## 4. 設定と接続確認

4.1. インストール後の状態

RTE for WIN32 をインストールするとスタートメニューの RTE for WIN32 のグループ・ファイ ルに「Check RTE2」のアイコンが登録されます。「Check RTE2」により RTE for WIN32 のポート の設定や接続確認等を行うことができます。

接続テストを実施する前に、「ハードウェア・ユーザーズマニュアル」を参照して、使用する RTE システムの設定と PC との接続を確認してください。



「Check RTE2」はインストール後に必ず実行し、RTE 製品の種類やインターフェースの種類、ライセンス等を設定してください。また、インストール後にこれらの項目の内容を変更した場合も「Check RTE2」を実行して設定し直してください。
 Ver.4.37 以前の RTE for WIN32 がインストールされている環境で、新しいバージョンの RTE for WIN32 を上書きインストールしますと、上記のグループ・ファイルに「Check RTE32」のアイコン(緑色)が表示されます。「Check RTE32」はライセンスの登録機能等を持っていないのでご使用にはならず、「Check RTE2」を使用してください。

4.2. ライセンス・キーとは

ー部の製品(例えば、V850E2/ME3-TP等)では、RTE for WIN32を使用するためにライセンス・キーの設定を必要とします。ライセンス・キーは、ライセンスが必要な製品に添付されているライセンス・シートに、ID またはシリアル番号と共に記載されています。

ライセンス・キーと ID またはシリアル番号は、「Check RTE2」のライセンス・ダイアログで 設定してください(『4.6.ライセンスの設定』参照)。

ライセンス・キーの設定は製品ごとに必要です。

## 4.3. Check RTE2

「Check RTE2」を起動すると、次のようなダイアログ・ボックスを表示します。各項目の概要を以下に説明します。詳しくは次節以降の製品種類ごとの説明を参照してください。

Setup RTE-Products		×
レットアップ RTE	- プロダクト <u>一覧</u>	
RTE: V853-IE		
I/F-1: PCI I/F		
I/F-2: 0xDF30		
CH: Och 🔽		
■ RTE共有サーバーを使用		
リセット RTE ライセンス オプ・ション	€-V853 <b>V853−IE</b> ⊕-V853Δ	•
プロダ <sup>い</sup> クド青報: V853-IE	(±1)±4/	
パロバ肩鞍:  ノイ ビノスは必要		
	確認( <u>D</u> ) +	+)セル 

プロダクト一覧	:ご使用になる製品を選択します。
RTE	: ダイアログ右の「プロダクトー覧」のツリーで選択された製品が表 示されます。
I/F-1	: インターフェース・ボードの種類や、通信ポートを設定します。選 択した製品により、この項目で選択できる内容が変わります。
I/F-2	: インターフェース・ボードの I/O アドレスや、通信のボーレートを 設定します。「I/F-1」で選択した内容により、この項目で選択できる 内容が変わります。
СН	: 将来の機能拡張のために用意されています。
RTE 共有サーパーを使用	: 将来の機能拡張のために用意されています。
リセット RTE	: このボタンをクリックするとハード的なリセットが行われます。ハ ード的なリセットがサポートされていない製品では、このボタンは グレーになっています。
ライセンス	: このボタンをクリックするとライセンス・キーの設定を行うことが できます。ライセンス・キーの設定が必要ない製品では、このボタ ンはグレーになっています。
オプション	: このボタンをクリックすると各製品に依存する設定を行うことがで きます。オプションの設定が必要ない製品では、このボタンはグレ 一になっています。
プロダクト情報	:「プロダクトー覧」で選択した製品についての情報が表示されます。
ライセンス状態 	:「プロダクトー覧」で選択した製品について、ライセンスの設定の要 否が表示されます。
Rte4win3	32 Ver6.00.00 以降ではライセンスの有効/無効の表示はなされません。
確認(D)	: このボタンをクリックすると、設定された内容で製品の接続の確認 を開始します。したがって、このボタンをクリックする時には、各 製品が正しく接続されている必要があります。 また、接続確認後に簡単な機能テストを行うことができます。
「プロダンアンジン	クトの一覧」のツリー表示から製品を選択する時、ツリーのもっとも に表示される項目を選択してください。ツリーの途中の項目を選択し

「プロダクトの一覧」のツリー表示から製品を選択する時、ツリーのもっとも 深い部分に表示される項目を選択してください。ツリーの途中の項目を選択し た状態では製品の選択は切り替わりません。製品の選択が切り替わったかどう かは、「RTE」の表示が切り替わったことで確認することができます。 「Check RTE2」で各項目を設定したら、「確認」ボタンをクリックしてください。RTE システムとの接続が確認され、確認が成功すると以下のようなダイアログ・ボックスが表示されます。

RTE for Windows	×
RTEの接続を確認しました.	
RTEV853,5,L32,V3.02.0,Dec 15 1999, Copyright (c) 1995-1997 Midas lab,Inc.	
OK	

「RTEの接続を確認しました」ダイアログ・ボックスで「OK」をクリックすると、次の機能 テストの確認ダイアログ・ボックスを表示します。「いいえ」を選択するとプログラムを終了し ます。「はい」を選択すると、RTE システムの簡単な機能テストを行います。

RTE for Windows	>
RTEの機能テストを行いますか?	
<u>(まい(Y)</u> いいえ( <u>N</u> )	

機能テスト中にエラーが発生すると、エラーメッセージの確認ダイアログ・ボックスが表示されます。エラーの詳細については、『6.エラーメッセージと対策』を参照してください。

テストが正常に終了すると、以下のダイアログ・ボックスを表示します。

RTE for Windows		×
	RTEの機能テスト.	
	正常終了.	
	ОК	

これで、通信と基本的な機能テストが完了しました。



 「Check RTE2」は、Windows ディレクトリ下(Windows 7, Windows Vista の場合は RTE for WIN32 のインストール・ディレクトリ下)の rte4w32.ini (設定保存ファイル)および rte4w32.lic と rte4w32.key(ライセンス保存フ ァイル)を書き換えます。
 Windows 7, Windows Vista, Windows XP, Windows2000 および Windows NT 4.0 環境では、一般ユーザが「Check RTE2」を使えるようにするために、必 要であればこれらのファイルのアクセス権を変更してください。 なお rte4w32.lic と rte4w32.key は、ライセンス情報を登録しない限り作成さ れません。

## 4.4. RTE-xxxx-IE/ RTE-xxxx-TP / RTE-xxxx-NBD / RTE-xxxx-IDB/NBD の設定

「Check RTE2」の「プロダクトの一覧」で、xxxx-IE,xxxx-TP,xxxx-NBD または xxxx-IDB/NBD を選択した場合、I/F-1: に選択できる接続手段がプルダウン・リストボックスに一覧表示されます。リストボックスに表示される接続手段は以下の通りです。

- ISA I/F : PC/AT 互換機(DOS/V 機)で ISA-BUS 用のホスト・インターフェース・カード を使用する場合に選択します。I/F-2 で、インターフェース・カードへ設定した I/O アドレスを指定する必要があります。この項目は、PC/AT 互換機(DOS/V 機) の時だけ表示されます(\*1)。
- C-BUS I/F : NEC-PC98 機(NX シリーズを除く)で C-BUS 用のホスト・インターフェース・ カードを使用する場合に選択します。I/F-2 で、インターフェース・カードへ設 定した I/O アドレスを指定する必要があります。この項目は、NEC-PC98 機(NX シリーズは除く)の時だけ表示されます。
- PC CARD: PC-CARD(PCMCIA)インターフェース・カードを使用する場合に選択します。I/F-2 には、現在割り付けられている I/O アドレスが表示され、I/O アドレスを指定す る必要はありません。この項目は、PC-CARD インターフェース・カードがソケ ットに装着されていないと表示されません(\*1)。
- PCI I/F : PCI-BUS 用のホスト・インターフェース・カードを使用する場合に選択します。
   I/F-2 には、現在割り付けられている I/O アドレスが表示され、I/O アドレスを指定する必要はありません。この項目は、PCI-BUS 用のホスト・インターフェース・カードが装着されていないと表示されません。また、NEC-PC98 機(NX シリーズは除く)の場合もこの項目は表示されません(\*1)。
- LAN I/F : LAN を使用する場合に選択します。I/F-2 で、接続先の RTE-2000(H)-TP 等の IP アドレスを指定する必要があります。
- USB I/F : USB を使用する場合に選択します。この項目は、ホストに USB 経由で RTE-2000(H)-TP が接続されていないと表示されません。複数の RTE-2000(H)-TP が USB 経由でホストに接続している場合、I/F-2 で接続先の RTE-2000(H)-TP の MAC アドレスを指定する必要があります。RTE-2000(H)-TP の MAC アドレスは、 RTE-2000(H)-TP の背面のシールに記載されています。

	セットアップ RTE  プロダット  プロダット  プロダット  一覧	
	RTE: V850E2/ME3-TP	
	I/F−1: PCI I/F	
	I/F-2: 0×DF30	
	CH: Och	
	■ V850L73137 ■ RTE共有サーバーを使用 ■ NA85E2	
	U地ット RTE ライセンス オブッション	<u>.</u>
	7°ログ <sup>ッ</sup> クド青春日: V850E2/ME3-TP	
	ライセンスが必要です	
	確認( <u>D</u> ) キャンセル	
*1 · Window	we 7 の 64 ビット版でけ、ISA I/E PC-CARD PCI I/E	<u>  </u>  け表示

# 4.5. RTE-xxxx-PC / RTE-xxxx-CB の設定

「Check RTE2」の「プロダクトの一覧」で、xxxx-PC または xxxx-CB を選択した場合、I/F-1: に 選択できる接続手段がプルダウン・リストボックスに一覧表示されます。リストボックスに表示 される接続手段は以下の通りです。

- IOポート : ISA-BUS でバス接続する場合に選択します。I/F-1 で設定したボードが ISA-BUS 用のボードでないとこの項目は表示されません。 I/F-2 で、ボードへ設定した I/O アドレスを指定する必要があります。
- PCI : PCI-BUS でバス接続する場合に選択します。I/F-1 で設定したボードが PCI-BUS 用のボードでないとこの項目は表示されません。また、NEC-PC98 機(NX シリーズは除く)の場合もこの項目は表示されません。 I/F-2 には、AUTOと表示され I/O アドレスを指定する必要はありません。
- COM1,2,3,4 :シリアルで接続する場合に使用するCOM番号を選択します。

I/F-2 で、ボーレートを指定する必要があります。

🎇 Setup RTE-Products	×
_ セットアップ RTE	┌プロダ゙クト━━覧─────
RTE: V850E2/ME3-CB	
I/F-1: COM1: 💌	
I/F-2: 115200 bps 💽	
CH: Och 🖃	V850E2/ME3-CB
■ RTE共有サーバーを使用	
リセット RTE ライセンス オプション	⊕ VR5500 ⊕ NB85E   ⊕ PC ▼
プロダ <sup>**</sup> クトド青春日: V850E2/ME3-CB	
バロバ目板:  フキセンスは必要	
	確認(D) 井心セル

I/F-2: は、接続手段に応じたパラメータ(I/O アドレス、またはボーレート)が、プルダウン・リストボックスに一覧表示されますので、それぞれボードに設定した値と同じ値を選択してください。

Windows	7 の 64 ビット版では、RTE-xxxx-PC と RTE-xxxx-CB はサポートさ
れません	(『1.4 Windows 7 64 ビット版のサポート』参照)。

## 4.6. ライセンスの設定

「Check RTE2」の「ライセンス状態」に「ライセンスが必要です」と表示されている場合、 その製品を使用するためにはライセンスの設定が必要です。

ライセンスを設定するには、「Check RTE2」の「ライセンス」ボタンをクリックして、ライセンス・ダイアログを起動し、製品に添付されているライセンス・シートに記載されている ID またはシリアル番号と、ライセンス・キーを入力します。

## <u>ライセンス名の選択</u>

ライセンス・ダイアログのライセンス名入力欄の右端の矢印をクリックしてライセンスを設定 する対象製品を選択してください。

License					×
うたいね:	KIT-V850E2/ME3	-TP-H	•	OK	
ID:	KIT-V850E2/ME3 KIT-V850E2/ME3	-TP -TP-H		キャンセル	
刘刚香号:	S031143	- 0F005	5C9		
ライセンスキー:	4075A7214EC2B1	18			

# <u>KIT-xxxx-xxの場合の入力</u>

シリアル番号とライセンス・キーを入力してください。

License		×
うけいれる:	KIT-V850E2/ME3-TP	ОК
ID:	: : *	キャンセル
シリアル番号:	-	
ライセンスキー:		

#### <u>KIT-xxxx-xx-Hの場合の入力</u>

ID とライセンス・キーを入力してください。

License					×
ライセン	2名:	KIT-V850E2	/ME3-TP-H		OK
	ID:	F0 : 05	i : C9	* *	キャンセル
シリアル霍	舒号:	S031143	- OF	00509	
ライセン	7‡-:	4075A7214E	C2B118		

入力できたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



# 5. デバイスドライバについて

ホスト I/F が PCI や PC-CARD(PCMCIA)、USB の場合、及び PCI バス搭載の RTE-xxxx-PC シ リーズを使用する場合には、Rte for WIN32 のインストールとは別に、I/F 個別のドライバをイン ストールしなければなりません。

この章では、OSごとにホスト I/F 個別のドライバのインストール方法を説明します。

#### 5.1. Windows 7 32 ビット環境における PC-CARD ドライバの組込み

この章では、Windows 7 の 32 ビット版使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順に ついて説明します。

### 5.1.1. Windows 7 32 ビット環境における PC-CARD ドライバの組込み手順

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。



- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- 3) PC-CARD(PCMCIA)インターフェースが PC-CARD 用のソケットに挿されていない場合 は挿し込みます。
- デバイス・マネージャを起動すると、ドライバが組み込まれていない場合、下記のよう に『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』が『ほかのデバイス』の下に!マーク付きで表示されます。



ドライバが既に組み込まれている場合は、デバイス・マネージャの表示がこの章の最後の示した表示になります。



5) デバイス マネージャで『KMC/MEC-ICE-IF\_1.0』を選択し [操作] メニューから [ドラ イバー ソフトウェアの更新(P)...]を選択してください。 6) 『ドライバー ソフトウェアの更新』ダイアログが表示されますので、[コンピューター を参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R)]をクリックしてください。

	▶ トンイバー シノ・ドウエアの最新加速と目期使用します(5) このデバイス用の最新のドライバーソフトウェアをコンピューターとインター ネットから検索します。ただし、デバイスのインストール設定でこの機能を無効
	にするよう設定した場合は、検索は行われません。
4	→ コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R) ドライバー ソフトウェアを手動で検索してインストールします。

次に下記のダイアログが開きますので、[次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、[次へ(N)] ボタンをクリックしてください。

, ∎ ⊐>	トライバー ソフトウェアの更新 · ビューター上のドライバー ソフ	- KMC/MEC ICE-IF_1.0 トウェアを参照します。	
次0. [C:1	場所でドライバー ソフトウェア? rte4w32	を検索します:	▼ 参照(R)
<b>V</b> +	・ブフォルダーも検索する(I)		
ð	コンピューター上のデバイス この一覧には、デバイスと互換 と、デバイスと同じカデゴリに す。	、ドライバーの一覧から選択 性があるインストールされた あるすべてのドライバー ソフ	Rします(L) ドライバー ソフトウェア リトウェアが表示されま
			次へ(N) キャンセノ

8) 『Windows セキュリティ』ダイアログが開きますので、[このドライバー ソフトウェア をインストールします(I)] をクリックしてください。



9) ドライバ ソフトウェアのインストールが開始され、暫くすると下記のダイアログが表示 されますので、[閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。

🥪 🖉 ドライバー ソフトウェアの更新 - RTE PC-Card Interface
ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。
このデバイスのドライバー ソフトウェアのインストールを終了しました:
RTE PC-Card Interface
関心ス(へ)

以上で、PC-CARDのドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイスマネージャで確認できます。



## 5.1.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『KMC/MEC-ICE-IF\_1.0』もしくは『RTE PC-Card Interface』をデバイス・マ ネージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『KMC/MEC-ICE-IF\_1.0』もしく は『RTE PC-Card Interface』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変更のスキャン(A)]を選択するか、PC-CARD を一旦ソケットから抜いてから再度挿し直してください。 PC-CARD が検出された以降の手順は、『5.1.1 Windows 7 32 ビット環境における PC-CARD ドラ イバの組込み手順』と同様です。 5.2. Windows 7 32 ビット環境における PCI ドライバの組込み

この章では、Windows 7 の 32 ビット版使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について 説明します。

#### 5.2.1. Windows 7 32 ビット環境における PCI ドライバの組込み手順

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

- Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- デバイス・マネージャを起動すると、ドライバが組み込まれていない場合、下記のよう
   に『PCI デバイス』が『ほかのデバイス』の下に!マーク付きで表示されます。

デバイス マネージャは次の手順で起動できます。
 [スタート メニュー] → [コントロール パネル] を選択し、表示されたダイアログで [ハードウェアとサウンド] をクリックし、更に [デバイス マネージャ] をクリックしてください。
 ドライバが既に組み込まれている場合は、デバイス・マネージャの表示がこ



- ギバイス マネージャで『PCI デバイス』を選択し[操作] メニューから [ドライバー ソ フトウェアの更新(P)...]を選択してください。
- 5) 『ドライバー ソフトウェアの更新』ダイアログが表示されますので、[コンピューター を参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R)]をクリックしてください。



次に下記のダイアログが開きますので、「次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、「次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

〇 ① ドライバー ソフトウェアの更新 - PCI デバイス
コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。
次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:
C:¥rte4w32 ▼ 参照(R)
▼ サブフォルダーも検索する(1)
→ コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します(L) この一覧には、デバイスと互換性があるインストールされたドライバー ソフトウェア と、デバイスと同じカテゴリにあるすべてのドライバー ソフトウェアが表示されます。
次へ(N) キャンセル

7) 『Windows セキュリティ』ダイアログが開きますので、[このドライバー ソフトウェア をインストールします(I)] をクリックしてください。



8) ドライバ ソフトウェアのインストールが開始され、暫くすると下記のダイアログが表示 されますので、[閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。



以上で、PCIボードのドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイス マネージャで確認できます。

🚽 デバイス マネージャー 💼 💷 🏊
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)
♦ ♦ 🖬 🗐 🖉 🖬 👰 🕸 💺 🕫
🖌 🙀 Midas lab Drivers
B RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series
▷-──── PCMCIA アダプター
▷ -==========
▶ 📜 コンピューター
▶ ■ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー
アニュノイスションイン
▶ ● ネットワーク アダプター
▶ 🔚 ヒューマン インターフェイス デバイス
▶ ■ プロセッサ
▷ 🛃 フロッピー ディスク ドライブ
> 🚭 フロッピー ドライブ コントローラー
▷-''' ポート (COM と LPT)
▷-····································

5.2.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『PCI デバイス』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』を デバイス・マネージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『PCI デバイス』も しくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの [操作] メニューから [ハードウェア変更のスキャン(A)] を選択してください。PCI デバイスが検出された以降の手順は、『5.2.1 Windows 7 32 ビット環境における PCI ドライバの組込み手順』と同様です。

# 5.3. Windows 7 環境における USB ドライバの組み込み

この章では、Windows 7 使用時の USB 用ドライバの組み込み手順について説明します。 Windows 7 の 32 ビット版と 64 ビット版のドライバの組み込み手順は同じです。

# 5.3.1. Windows 7 環境における USB ドライバの組み込み手順

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

- Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- 3) RTE-2000(H)-TP がホストに接続されていない場合、USB 経由で接続してください。
- デバイス・マネージャを起動すると、ドライバが組み込まれていない場合、下記のよう に『RTE-2000-TP USB Interface』が『ほかのデバイス』の下に!マーク付きで表示され ます。



ドライバが既に組み込まれている場合は、デバイス・マネージャの表示がこの章の最後の示した表示になります。



- 5) デバイス マネージャで 『RTE-2000-TP USB Interface』 を選択し [操作] メニューから [ド ライバ ソフトウェアの更新(P)...] を選択してください。
- ⑥ 『ドライバー ソフトウェアの更新』ダイアログが表示されますので、[コンピューター を参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R)]をクリックしてください。



次に下記のダイアログが開きますので、[次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力し、[サブフォルダーも検索する(I)]チェック・ボックスにチェックを入れて、[次へ(N)] ボタンをクリックしてください。

	×
🚱 📱 ドライバー ソフトウェアの更新 - RTE-2000-TP USB Interface	
コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。	
次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します:	
Ct#rte4W32 ▼ 参照(R)	
→ コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L) この一覧には、デバイスと互換性があるインストールされたドライバー ソフトウェア と、デバイスと同じカテゴリにあるすべてのドライバー ソフトウェアが表示されます。	
次へ(N) キャンセノ	ιL

8) 『Windows セキュリティ』ダイアログが開きますので、[インストールする(I)] ボタン をクリックしてください。

💀 Windows セキュリティ	<b>•••••••••••••••••••••••••••••••••••••</b>
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
名前: Midas lab,Inc. 発行元: Midas lab. Inc.	
<ul> <li>"Midas lab. Inc." からのソフトウェアを常に信頼 する(A)</li> </ul>	インストール(I) インストールしない(N)
④ 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをイ イス、ソフトウェアを判断する方法	ンストールしてください。 安全にインストールできるデバ

9) ドライバ ソフトウェアのインストールが開始され、暫くすると下記のダイアログが表示 されますので、[閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。



以上で、USBのドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイス マネージャで確認できます。

🚔 デバイス マネージャー 🗖 🗖 🏊
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)
🛛 🛁 LAB3-WIN7J32-UL
▷ 🛃 DVD/CD-ROM ドライブ
▷ 😋 IDE ATA/ATAPI コントローラー
<ul> <li>Midas lab Drivers</li> </ul>
RTE-2000-TP USB Driver
▶
▶ ◄ サワント、ビデオ、およびケーム コントローラー
▶ ■ ディスプレイ アダプター
▶ ♥ ネットワーク アダプター
<ul> <li>         プロセッサ     </li> </ul>
▶ 🐺 ポート (COM と LPT)
▷ 🖳 モニター
🌔 🖡 ユニバーサル シリアル バス コントローラー

# 5.3.2. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で USB ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合、 RTE-2000(H)-TP を示す USB デバイスがデバイス・マネージャに表示されなくなります。

このような場合は、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変更のス キャン(A)]を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると USB デバイスがデバイス・マネージャに表示されるように なります。これ以降の手順は『5.3.1 Windows 7 環境における USB ドライバの組み込み手順』と 同様です。 5.4. Windows Vista 環境における PC-CARD ドライバの組込み

この章では、Windows Vista 使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順について説明 します。

5.4.1. PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合

PC-CARD インターフェースを初めて PC-CARD ドライブに挿した場合のドライバの組み込み 手順を下記に示します。

10) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

11) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿す前に、Rte for WIN32 のインストールを行ってください。

Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアが見つかり ました』ダイアログが表示されている状態で行って頂いても構いません。

12) PC-CARD(PCMCIA)インターフェースを PC-CARD 用のソケットに差し込みます。しば らくすると『新しいハードウェアが見つかりました』ダイアログが表示されるので、[ド ライバ ソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)]をクリックしてください。

【後で再確認します(A)】や[このデバイスについて再確認は不要です(D)] を選択した場合は、『5.4.2 ドライバが組み込まれていない状態での後から のドライバの組み込み』の手順を実施してください。



クしてください。



13) 暫くの間ドライバ ソフトウェアの検索が行なわれた後、下記のダイアログが開きますの



で、[ディスクはありません。他の方法を試します(I)]をクリックしてください。

14) 次に下記のダイアログが開きますので、[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェ アを検索します(上級)(R)] をクリックしてください。

③ 新しいハードウェアの検出 - KMC/MEC ICE-IF_1.0	
このデバイス用のドライバ ソフトウェアが見つかりませんでした。	
→ 解決策を確認します(C) デバイスが動作するために必要な手順があるかどうかが確認されます。	
◆ コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)(R) ドライバ ソフトウェアを手動で検索してインストールします。	
[	キャンセル

15) 次に下記のダイアログが開きますので、[次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、[次へ(N)] ボタンをクリックしてください。

⑥      ⑥      ⑤      ⑥      新しい\ードウェアの検出 - KMC/MEC ICE-IF_1.0	×
コンピュータ上のドライバ ソフトウェアを参照します。	
次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:	
☑ サブフォルダも検索する(I)	
次へ(N)	キャンセル

16) 『Windows セキュリティ』ダイアログが開きますので、[このドライバ ソフトウェアを インストールします(I)] をクリックしてください。



17) ドライバ ソフトウェアのインストールが開始され、暫くすると下記のダイアログが表示 されますので、[閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。

	×
🧼 🚇 新しいハードウェアの検出 - RTE PC-Card Interface	
このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。	
このデバイスのドライバ ソフトウェアのインストールを終了しました:	
RTE PC-Card Interface	
開ビ	/る(C)

以上で、PC-CARD の検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバ イス マネージャで確認できます。



5.4.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み

ドライバの組み込みの手順を間違えた等の理由で、ドライバの組み込みを行わなかった場合 に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』が『ほかのデバイス』の下に!マーク付きで表示されます。



1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- 3) デバイス マネージャで『KMC/MEC-ICE-IF\_1.0』を選択し[操作] メニューから [ド ライバ ソフトウェアの更新(P)...]を選択してください。
- 『ドライバ ソフトウェアの更新』ダイアログが表示されますので、[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します(R)]をクリックしてください。

○ □ ドライバ ソフトウェアの更新 - KMC/MEC ICE-IF_1.0	
どのような方法でドライバ ソフトウェアを検索しますか?	
◆ 自動的に更新されたドライバ ソフトウェアを検索します(S) コンピュータとインターネットでデバイス用の最新のドライバ ソフトウェアを 検索します。	
◆ コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します(R) ドライバ ソフトウェアを手動で検索してインストールします。	

次に下記のダイアログが開きますので、「次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、「次へ(N)]ボタンをクリックしてください。



6) これ以降の手順は、『5.4.1 PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合』の16)からの手順と同じです。

# 5.4.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『KMC/MEC-ICE-IF\_1.0』もしくは『RTE PC-Card Interface』をデバイス・マ ネージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしく は『RTE PC-Card Interface』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの [操作] メニューから [ハードウェア変更のスキ ャン(A)] を選択するか、PC-CARD を一旦ソケットから抜いてから再度挿し直してください。 PC-CARD が検出された以降の手順は、『5.4.1 PC-CARD インターフェースを初めてスロットに 挿した場合』と同様です。

## 5.5. Windows Vista 環境における PCI ドライバの組込み

この章では、Windows Vista使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

#### 5.5.1. PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合

RTE シリーズの PCI ボードを初めて PCI バスに挿した後、Windows Vista を起動した場合の手順を以下に説明します。

9) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

10) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。

Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアが見つかり ました』ダイアログが表示されている状態で行っても構いません。

11) ログイン後しばらくすると『新しいハードウェアが見つかりました』ダイアログが表示 されるので、[ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)] をクリ ックしてください。

【後で再確認します(A)】や [このデバイスについて再確認は不要です(D)] を選択した場合は、『5.5.2 ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み』の手順を実施してください。



✓ ユーザ アカウント制御(UAC)が有効になっている場合は、上記選択をする とユーザ アカウント制御ダイアログが開きますので、[続行(C)] をクリッ クしてください。



12) 暫くの間ドライバ ソフトウェアの検索が行なわれた後、下記のダイアログが開きますの で、[ディスクはありません。他の方法を試します(I)] をクリックしてください。



13)次に下記のダイアログが開きますので、[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェ アを検索します(上級)(R)]をクリックしてください。

<b>G</b> 1	新しいハードウェアの検出 - PCI デバイス	
Z	のデバイス用のドライバ ソフトウェアが見つかりませんでした。	
	▶ 解決策を確認します(C) デバイスが動作するために必要な手順があるかどうかが確認されます。	
	コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します (上級)(R) ドライバ ソフトウェアを手動で検索してインストールします。	
		キャンセル

14) 次に下記のダイアログが開きますので、「次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、「次へ(N)] ボタンをクリックしてください。

⑥ 新しいいードウェアの検出 - PCI デバイス	×
コンピュータ上のドライバ ソフトウェアを参照します。	
次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:	
C:¥rte4w32 ● 參照(R)	
次へ(N) キャンセノ	L

15) 『Windows セキュリティ』ダイアログが開きますので、[このドライバ ソフトウェアを
インストールします(I)]をクリックしてください。



16) ドライバ ソフトウェアのインストールが開始され、暫くすると下記のダイアログが表示 されますので、[閉じる(C)] ボタンをクリックしてください。



以上で、PCIボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバ イス マネージャで確認できます。



デバイス マネージャは次の手順で起動できます。
 [スタート メニュー] → [コントロール パネル]を選択し、左側のペインで[クラシック表示]を選択し、[デバイス マネージャ]をダブルクリックしてください。

#### 5.5.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み

Windows Vista をインストールする前から PCI ボードが PCI バスに挿されていた場合や、手順 を誤ってドライバの組込みを行わなかった場合に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明 します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように『PCI デバイス』が『ほかのデバイス』の下に!マーク付きで表示されます。



**\_\_/ デ**バイス マネージャは次の手順で起動できます。

【 [スタート メニュー] → [コントロール パネル] を選択し、左側のペイン で [クラシック表示] を選択し、[デバイス マネージャ] をダブルクリック してください。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Administrator 権限を持たないユーザでログインした場合、インストール手 順の途中で Administrator 権限を持つユーザ(管理者)のユーザ名とパスワ ードの入力が必要になります。

- Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- デバイス マネージャで『PCI デバイス』を選択し[操作] メニューから [ドライバ ソ フトウェアの更新(P)...]を選択してください。
- 『ドライバ ソフトウェアの更新』ダイアログが表示されますので、[コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します(R)]をクリックしてください。



次に下記のダイアログが開きますので、「次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:]のエディット・ボックスに RTE for WIN32 をインストールしたディレクトリを入力して、「次へ(N)]ボタンをクリックしてください。

〇 ① ドライバ ソフトウェアの更新 - PCI デバイス
コンピュータ上のドライバ ソフトウェアを参照します。
次の場所でドライバ ソフトウェアを検索します:
<mark>C:¥rte4w32</mark> ◆ 參照(R)
⑦ サブフォルダも検索する(I)
◆ コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します(L) この一覧には、デバイスと互換性があるインストールされたドライバ ソフトウェア と、デバイスと同じカデゴリにあるすべてのドライバ ソフトウェアが表示されます。
次へ(N) キャンセル

6) これ以降の手順は、『5.5.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』の15)からの手順と同じです。

# 5.5.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『PCI デバイス』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』を デバイス・マネージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『PCI デバイス』も しくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの [操作] メニューから [ハードウェア変更のスキャン(A)] を選択してください。PC-CARD が検出された以降の手順は、『5.5.1 PCI ボードを初め て PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同様です。

# 5.6. Windows Vista 環境における USB ドライバの組み込み

この章では、Windows Vista 使用時の USB 用ドライバの組み込み手順について説明します。



#### 5.6.1. USB 経由で初めてホストに接続した場合

RTE-2000(H)-TP を USB 経由で初めてホストに接続した場合のドライバの組込み手順は、PCI ボードの場合と『Windows セキュリティ』で表示されるダイアログ以外は同じですので『5.5.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』を参照してください。

『Windows セキュリティ』ダイアログは下記のものが表示されますので、[インストール(I)] ボタンをクリックしてください。



正常に USB ドライバが組み込まれた時のデバイス・マネージャの様子を下図に示します。



#### 5.6.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み

USB ドライバの組み込み中にキャンセルした場合、USB ドライバが組み込まれていない状態 になります。この時のデバイス・マネージャの様子を次図に示します。

🚔 デバイス マネージャ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) ⊟ ▲ LAB1-VISTAULTIM BVD/CD-ROM ドライブ IDE ATA/ATAPI コントローラ ■ ■ PCMCIA アダプタ
 ■ ■ キーボード ■ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ
 ■ ● システム デバイス ● きッシステム アパイス
 ● ライスク ドライブ
 ● ライスプレイ アダプタ
 ● ジャトワーク アダプタ
 ● ジェーマン インターフェイス デバイス . □ プロセッサ ■ 日 フロゼッリ ● 日 フロッピー ディスク ドライブ ● 日 フロッピー ドライブ コントローラ ● 「 ポート (COM と LPT) □ 🔓 ほかのデバイス □ □ □ RTE-2000-TP USB Interface □ □ □ マウスとそのほかのポインティング デバイス ■ 3 くりくどそのほかのパインティンシックパー
 ■ ■ モニタ
 ■ ■ ユニバーサル シリアル バス コントローラ ● � 記憶域コントローラ

このような状態の場合は、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変 更のスキャン(A)]を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから 再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアが見つかりました』ダイア ログが表示されます。これ以降の手順は『5.6.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同 様です。

### 5.6.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で USB ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合、 RTE-2000(H)-TP を示す USB デバイスがデバイス・マネージャに表示されなくなります。

このような場合は、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変更のス キャン(A)]を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアが見つかりました』ダイアログが表示 されます。これ以降の手順は『5.6.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同様です。 5.7. Windows XP 環境における PC-CARD ドライパの組み込み

この章では、Windows XP 使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。



5.7.1. PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合

PC-CARD インターフェースを初めて PC-CARD ドライブに挿した場合のドライバの組み込み 手順を下記に示します。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿す前に、Rte for WIN32 のインストールを行ってください。

✓ Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアの検出ウィ ザード』が起動している状態で行って頂いても構いません。

 PC-CARD(PCMCIA)インターフェースを PC-CARD 用のソケットに差し込みます。しば らくすると『新しいハードウェアの検出ウィザード』ダイアログが表示されるので、『一 覧または特定の場所からインストールする(詳細)』を選択して、[次へ >] ボタンをク リックしてください。



 次のダイアログが表示されますので、『次の場所を含める』だけを選択し、ディレクトリ 名として Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをク リックして Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを指定して、[次へ >] ボタン をクリックしてください。



5) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザー	Ę
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました。
N.S.	RTE PC-Card Interface
	「完了」をクリックするとウィザードを閉じます。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

以上で、PC-CARDの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバ イスマネージャで確認できます。



デバイス マネージャは次の手順で起動できます。 [スタート メニュー] → [マイ コンピュータ]を選択した状態で、マウス を右クリックして [プロパティ]を選択します。起動した『システムのプロ パティ』で [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリ ックします。

5.7.2. ドライバが組み込まれていない状態での後からのドライバの組み込み

ドライバの組み込みの手順を間違えた等の理由で、ドライバの組み込みを行わなかった場合 に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』に!マークが表示されます。



・デバイス マネージャは次の手順で起動できます。

【スタート メニュー]→[マイ コンピュータ]を選択した状態で、マウス を右クリックして[プロパティ]を選択します。起動した『システムのプロ パティ』で[ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]ボタンをクリ ックします。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

- Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- デバイス マネージャで『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』を選択し[操作] メニューから [プロ パティ]を選択してください。
- 4) 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0 のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバの再 インストール] ボタンをクリックしてください。



5) 『ハードウェアの更新ウィザード』ダイアログが表示されます。これ以降の手順は、 『5.7.1 PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合』と同様です。

ハードウェアの更新ウィザード	
	ハードウェアの更新ウィザードの開始
	このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: KMC/MEC ICE-IF_10
	ハードウェアに対風のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。
	インストール方法を選んでください。
	<ul> <li>○ ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)①</li> <li>● 「覧または特定の場所からインストールする(詳細)⑤)</li> </ul>
	続行するには、D欠へ] をクリックしてください。
	〈戻る個〉 (次へ個) キャンセル

5.7.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは『RTE PC-Card Interface』をデバイス・マネ ージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは 『RTE PC-Card Interface』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの [操作] メニューから [ハードウェア変更のスキ ャン] を選択するか、PC-CARD を一旦ソケットから抜いてから再度挿しなおしてください。 PC-CARD が検出された以降の手順は、『5.7.1 PC-CARD インターフェースを初めてスロットに 挿した場合』と同様です。



### 5.7.4. KMC 社製 PC-CARD ドライバ

この章では、既に Rte for WIN32 用の PC-CARD ドライバが組み込まれている状態で、京都マ イクロコンピュータ株式会社(以降 KMC 社)製の PARTNER-ETII/J/N64 対応 PC-CARD 用ドラ イバへ入れ換える手順を示します。

Rte for WIN32 は、KMC社製のドライバが組み込まれている状態でも正常に動作します。しか し、KMC社のPARTNER-ETII/J/N64 はKMC社製のドライバが組み込まれていないと動作しませ ん。したがって、<u>同じパソコン上でRte for WIN32 とPARTNER-ETII/J/N64 をPC-CARDインター</u> フェースでご使用になる場合は、KMC社製のPC-CARDドライバを組み込む必要があります。

以下では、既に Rte for WIN32 用の PC-CARD ドライバが既に組み込まれている状態から、KMC 社製のドライバへ入れ換える手順を示します。

RTE for WIN32 用の PC-CARD ドライバが組み込まれている場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように『RTE PC-Card Interface』が表示されます。



[スタート メニュー] → [マイ コンピュータ] を選択した状態で、マウス を右クリックして [プロパティ] を選択します。起動した『システムのプロ パティ』で [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリ ックします。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

- 2) KMC 社製の PC-CARD ドライバのインストーラを実行し、ドライバ・ファイルを解凍し てください。
- 3) デバイス マネージャで『RTE PC-Card Interface』を選択し[操作] メニューから [プロ パティ]を選択してください。

 (RTE PC-Card Interface のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバ]タ ブを選択し[ドライバの更新]ボタンをクリックしてください。

RTE PC-Card Interfaceのプロパティ	? 🕨
全般 ドライバ リソース	
RTE PC-Card Interface	
プロバイダ: Midas lab,Inc.	
日付: 2000/04/13	
バージョン: 1.1.0.0	
デジタル署名者: デジタル署名されていません	
ドライバの詳細(型) ドライバ ファイルの詳細を表示します。 ドライバの更新(型) このデバイスのドライバを更新します。	
ドライバの更新後にデバイスの認識が失敗する場。 前にインストールしたドライバにロール バックします。	計、以
削除(1) ドライバをアンインストールします (上級者用)。	
OK *-	のセル

5) 『ハードウェアの更新ウィザード』ダイアログが表示されますので『一覧または特定の 場所からインストールする(詳細)』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックしてくだ さい。

ハードウェアの更新ウィザード		
	ハードウェアの更新ウィザードの開始	
	このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: RTE PC-Card Interface	
	ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。	
	インストール方法を選んでください。	
	○ ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)① ◎ 一覧または特定の場所からインストールする (詳細)( <u>⑤</u> )	
	続行するには、〕次へ] をクリックしてください。	
	< 戻る(B) (次へ(W)) (キャンセル	

次のダイアログが表示されますから、『検索しないで、インストールするドライバを選択する』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

検索とイン	ストールのオプションを	選んでください。			
○次( 下) 1/	D場所で最適のドライノ Dチェック ボックスを使っ がインストールされます	液検索する( <u>S</u> ) て、リムーバブル メデ 。 ♀ (フロッピー、 CD-F	ィアやローカル パスな COM など) を検索(0	)ら検索できます。†	食索された最適のドラ
⊙検	<ul> <li>✓ 次の場所を含める</li> <li>○:¥rte4w32</li> <li>案しないで、インストール</li> </ul>	⊙): ,するドライバを)選択	42(D)	- 	参照( <u>E)</u>
 20	覧からドライバを選択す 時間りません。	るには、このオブション	/を選びます。 選択さ	れたドライバは、ハ	ードウェアに最適のもの
			(夏3(B)	) ) (120 (N) )	) ***`d711

- ハードウェアの更新ウィザード

   このハードウェアの走動にインストールするデパイスドライバを選択してください。

   シードウェアのためにインストールするデパイスドライバを選択してください。

   シードウェア デバイスの製造売とモデリルを選択してしたべしをグリックしてください。インストールするドライバのディングがある場合は、「ディスク使用」をグリックしてください。

   シーズンがある場合は、「ディスク使用」をグリックしてください。

   ジェクトラップを表示(2)

   モデル RTE PO-Cord Interface

   シードライバはデジタル署名されていません。

   ドライバの署名が重要な理由

   く戻る(空) 次へ(空) キャンセル
- 8) 次のダイアログで『製造元のファイルのコピー元』に KMC 社製 PC-CARD ドライバの解 凍先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをクリックして KMC 社製 PC-CARD ドライ

バの解凍先ディレク	トリ	を指定して、[OK] ボタンを	クリック	してください。
7	ロッピー ラ	「ィスクからインストール	X	
	J.	製造元が配布するインストールディスクを指定したドライブに挿入 して、下の正しいドライブが選択されていることを確認してください。	ОК **>セル	
		製造元のファイルのコピー元( <u>C</u> ):		
		C¥Program Files¥KMC¥W2KDRV	参照( <u>B</u> )	

9) 次のダイアログで、KMC 社製ドライバを選択して [次へ>] ボタンをクリックしてく ださい。

ハードウェアの	)更新ウィザード		
このハード	ウェアのためにインストールするデバイス ド	ライバを選択してください。	
→ <sup>ハ</sup> へ √ 互換性の	ードウェア デバイスの製造元とモデルを選択し スクがある場合は、「ディスク使用」 をクリックして あるハードウェアを表示(C)	って [)太へ] をクリックしてください。イン こください。	ノストールするドライバのデ 
モデル KMC Pr	ARTNER-ET2 PC-CARD I/F		
<b>3053</b>	ライバはデジタル署名されていません。 の署名が重要な理由		ディスク使用(山)
		< 戻る(B) 次へ(N):	> キャンセル

10) 次のダイアログで、[はい] ボタンをクリックしてください。

<b>F</b> 5	64 <b>/</b> 50	更新警告
4	!	Windows によって、このデバイスドライバが小ードウェアと互換性があることを確認できなかったため、このデバイスをインスト ールしないこをお勧めします。テライバを放性性がない場合、ハードウェアが正しく動作にないことがあります。また、コンピュ ーダが「不安正しなったり、発生し動作しなれる方が歴代をあります。このドライバのインストールを続けてしますが?

7) 次のダイアログで [ディスク使用] ボタンをクリックしてください。

11) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

ハードウェアの更新ウィザード	
	ハードウェアの更新ウィザードの完了
	次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました
	KMC PARTNER-ET2 PC-CARD 1/F
	[完了] をクリックするとウィザードを閉じます。
	< 戻る(B) <b>売7</b> キャンセル

以上でドライバの入れ換えが終わりました。組み込まれた様子は、デバイス マネージャで確認できます。

	鳥 デバイス マネージャ		
	ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H)		
			l
デバイス [スタ- を右ク! パティ』 ックしる	< マネージャは次の手順で起動できます -ト メニュー] → [マイ コンピュータ] リックして [プロパティ] を選択します。 で [ハードウェア] タブの [デバイス ます。	。 を選択した 起動した『 マネージャ	:状態で、マウス システムのプロ ] ボタンをクリ

5.8. Windows XP 環境における PCI ドライバの組み込み

この章では、Windows XP 使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。



### 5.8.1. PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合

RTE シリーズの PCI ボードを初めて PCI バスに挿した後、Windows XP を起動した場合の手順 を以下に説明します。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

 Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 先に行ってください。

✓ Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアの検出ウィ ザード』が起動している状態で行って頂いても構いません。

 3) しばらくすると『新しいハードウェアの検出ウィザード』ダイアログが表示されるので、
 『一覧または特定の場所からインストールする(詳細)』を選択して、[次へ >] ボタン をクリックしてください。



次のダイアログが表示されますから、『次の場所を含める』だけを選択し、ディレクトリ名として Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをクリックして Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを指定して、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード
検索とインストールのオブションを選んでください。
<ul> <li>○ 次の場所で最適のドライバを検索する⑤)</li> <li>下のチョックボックスを使って、リムードブルメディアやローカル パスから検索できます。検索された最適のドライバがインストールされます。</li> <li>□リムードブルメディア (ワロッピー、CD-ROM など)を検索(値)</li> <li>□[次の場所を含める⑥]</li> </ul>
<ul> <li>○米RTE4W82</li> <li>● 後報(2)</li> <li>○ 検索しないで、インストールするドライバを選択する(2)</li> <li>● 繋がらドライバを選択するには、このオプションを選びます。選択されたドライバは、ハードウェアに最適のものとは限りません。</li> </ul>
(戻る(E) 次へ(U) > キャンセル

5) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザ	- Þ
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました。
	RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series
	「完了」をクリックするとウィザードを閉じます。
and the second second	
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

以上で、ボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイ ス マネージャで確認できます。

	鳥 テバイス マネージャ	
	ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
		8
	TAI2-XPP     DVD/CD-ROM ドライブ     IDE ATA/ATAPI コントローラ     Midas lab Drivers     NTE POI Host Interface Card or     SUB (Universal Serial Bus) コントロー     キーボード     マンピュータ     サウンド、ビデオ、およびゲーム コントロー     マンステム デバイス     ディスク ドライブ     マジスタ	RTE-PC Series -7 7
	<ul> <li>■ ネットワーク アダブタ</li> <li>■ スットワーク アダブタ</li> <li>■ フロッピー ディスク コントローラ</li> <li>■ フロッピー ディスク ドライブ</li> <li>■ アポート (COM と LPT)</li> <li>■ マウスとそのほかのポインティング デバイス</li> <li>■ ■ モニタ</li> </ul>	
デバイス マ [スタート を右クリック パティ』で ックします。	ネージャは次の手順で起動できま メニュー] → [マイ コンピュー <sup>1</sup> して [プロパティ] を選択しま [ハードウェア] タブの [デパイ	<sup>E</sup> す。 タ]を選択した状態で、マウス す。起動した『システムのプロ ス マネージャ]ボタンをクリ

### 5.8.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

Windows XP をインストールする前から PCI ボードが PCI バスに挿されていた場合や、手順を 誤ってドライバの組み込みを行わなかった場合に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明 します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように『PCI Device』に!マークが表示されます。



デバイス マネージャは次の手順で起動できます。
 [スタート メニュー] → [マイ コンピュータ] を選択した状態で、マウス を右クリックして [プロパティ] を選択します。起動した『システムのプロ パティ』で [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリ ックします。

1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。

✔ Windows XP Home Edition では、アカウントの種類がコンピュータの管理者 に設定されているユーザが、Administrator 権限を持つユーザになります。

- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 先に行ってください。
- 3) デバイス マネージャで『PCI Device』を選択し[操作] メニューから [プロパティ] を 選択してください。
- 4) 『PCI Device のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバの再インストール] ボタンをクリックしてください。



5) 『ハードウェアの更新ウィザード』ダイアログが表示されます。これ以降の手順は、 『5.8.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同様です。

ハードウェアの更新ウィザード	
	ハードウェアの更新ウィザードの開始
	このウィザードでは、はのハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします: PCI Device
	○ ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピー ディ スクがある場合は、挿入してください。
	インストール方法を選んでください。
	○ ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)① ● 一覧または特定の場所からインストールする (詳細)⑤)
	続行するには、D欠ヘ」をクリックしてください。
	< 戻る(B) 次へ(W) キャンセル

5.8.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『PCI Device』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』をデバ イス・マネージャから削除してしまった場合、『PCI Device』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』が表示されなくなります。

このような場合、デバイス・マネージャの[操作] メニューから [ハードウェア変更のスキャン] を選択してください。PCI ボードが検出された以降の手順は、『5.8.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同様です。



5.9. Windows XP 環境における USB ドライバの組み込み

この章では、Windows XP 使用時の USB 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

本書では、区別の必要のない場合は、Windows XP Professionalと Windows XP Home Edition を総称して Windows XP と表記します。
USB I/F でご使用になる場合、USB1.1 での使用は推奨しません。 デバッガの 反応が遅く効率的なデバッグに向かないためです。

# 5.9.1. USB 経由で初めてホストに接続した場合

RTE-2000(H)-TP を USB 経由で初めてホストに接続した場合のドライバの組込み手順は、PCI ボードの場合と同じです。『5.8.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場 合』を参照してください。

正常に USB ドライバが組み込まれた時のデバイス・マネージャの様子を下図に示します。



### 5.9.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み

USB ドライバの組み込み中にキャンセルした場合、USB ドライバが組み込まれていない状態 になります。この時のデバイス・マネージャの様子を次図に示します。



このような状態の場合は、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変 更のスキャン]を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動しま す。これ以降の手順は『5.9.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同様です。

## 5.9.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で USB ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合、 RTE-2000(H)-TP を示す USB デバイスがデバイス・マネージャに表示されなくなります。

このような場合は、デバイス・マネージャの[操作]メニューから[ハードウェア変更のス キャン]を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動します。こ れ以降の手順は『5.9.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同様です。

# 5.10. Windows98 環境における PC-CARD ドライバの組み込み

この章では、Windows 98 使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

PC-CARD インターフェースには特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドラ イバを組み込みます。

### 5.10.1.PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合

PC-CARD インターフェースを初めて PC-CARD ドライブに挿した場合の標準ドライバの組み 込み手順を下記に示します。

 PC-CARD(PCMCIA)インターフェースを PC-CARD 用のソケットに差し込みます。する と新しいハードウェアが検出された、という内容のダイアログが表示された後、暫くす ると『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード	
次の新しいドライバを検索しています: KMC/MEC-ICE-IF 1.0	
デバイスドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソフトウェアです。	
〈 戻る(日) 【次へ〉 キャンセル	
	=

PC-CARD を挿しても『新しいハードウェア』ダイアログが表示されない場合や、ドライバが組み込まれた時に『ブーッ』というような音がした場合は、 PC-CARD のカードサービスが正常に動作していない可能性があります。 『5.24.PC-CARD が認識されない時のヒント(Windows 95/98)』を参照してカ ードサービスが正常に動作するようにしてください。

 次のダイアログが表示されますから、『特定の場所にある全てのドライバー覧を作成し、 インストールするドライバを選択する』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてく ださい。

新しいハードウェアの追加ウィザー	rs
	検索方法を選択してください。
	○ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)
	○ 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する
8 8 8	
	〈戻る(8) 次へ〉 キャンセル

3)次のダイアログで『その他のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックして ください。



4) 次のダイアログで『サポート外のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックして ください。

新しいハードウェアの追加ウィザード
ハードウェアの製造元とモデルを選択してください。ティスクに更新されたドライノはかる場合 は、「ティスクの使用」をクリックします。更新されたドライノをインストールするには、じたへ」をク リックしてください。
モデル(D):
<b>ヴポート外のデバイス</b>
ディスク使用(出)
〈戻る(B) 次へ〉 キャンセル

5) 『ドライバ更新の警告』ダイアログが表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリック してください。

このドライバは、選択したハードウェア用に設計されていない可能性があり、インストールしても正しく動作しない場合があり ます。このドライバを使用しますか? はいい2	ドライバ更	★の警告
(\$UN\$)	⚠	このドライバは、選択したハードウェア用に設計されていない可能性があり、インストールしても正しく動作しない場合があり ます。このドライバを使用しますか?

6) 次のダイアログで [次へ >] ボタンをクリックしてください。







7) 次のダイアログで [完了] ボタンをクリックしてください。

以上で、ボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『システム』を起動し『システムのプロパティ』ダ イアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タブで確認できます。

วันวรันพีวีอี่ได้รัก 😰 💈
全般 デバイスマネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス
€ 種類肌に表示(①)     C 接続別に表示(②)
ブロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(W)
OK キャンセル

### 5.10.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

ドライバの組み込みの手順を間違えた等の理由で、ドライバの組み込みを行わなかった場合 に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明します。

ドライバが組み込まれていない場合、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『シ ステム』を起動し『システムのプロパティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タ ブを選択し、『その他のデバイス』を選択すると以下のように『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』に!マー クが表示されます。

システムのプロパティ ?	×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル パフォーマンス	_
<ul> <li>● 種類肌に表示(①)</li> <li>○ 接続別に表示(②)</li> </ul>	
ブロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷(N)	
OK キャンセル	

- 1) 上のダイアログで、『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』を選択し [プロパティ(P)] ボタンをクリッ クしてください。
- 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0 のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバの再 インストール(I)] ボタンをクリックしてください。または、『ドライバ』タブの[ドライ バの更新(U)] ボタンをクリックしてください。

KMC/MEC-ICE-IF 1.0のプロパティ ? 🗙
全般 ドライバ リソース
KMC/MEC-ICE-IF 1.0
デバイスの種類: その他のデバイス 製造元: 指定なし ハードウェアのバージョン: 情報なし
デバイスの状態 このデバイス用のドライバはインストールされていません (Code 28.)。 再度インストールするには、[ドライバの再インストール] をクリックしてくだ さい。
ドライバの再インストールΦ
デバイスの使用 「 このハードウェア プロファイルで使用イ・可にする(D)) ▼ すべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)

3) 『デバイス ドライバの更新ウィザード』ダイアログが表示されます。これ以降の手順は、 『5.10.1.PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合』と同様です。

デバイス ドライバの更新ウィザー	7
	次のデバイスの更新されたドライバを検索します: KMO/MEC-ICE-IF 1.0
	デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	デバイス、ドライバを新しいパージョンにアップグレードすると、ハードウェ アデバイスの動作が向上したり、機能が追加されます。
<b>A</b>	
	〈 戻る(母) (大へ) キャンセル

# 5.10.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは『サポート外のデバイス』をデバイス・マ ネージャから削除してしまった場合、『システムのプロパティ』ダイアログの『デバイス マネー ジャ』タブに『その他のデバイス』が表示されなくなるか、『その他のデバイス』は表示される がその中に『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは『サポート外のデバイス』が表示されなくなりま す。

このような場合、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『ハードウェアの追加』 を起動してプラグ アンド プレイ機器の検索を行うか、PC-CARD を一旦ソケットから抜いてか ら再度挿しなおしてください。PC-CARD が検出された以降の手順は、『5.10.1.PC-CARD インタ ーフェースを初めてスロットに挿した場合』と同様です。

# 5.11. Windows98 環境における PCI ドライバの組み込み

この章では、Windows 98 使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。 RTE シリーズの PCI ボードは特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドライ バを組み込みます。

### 5.11.1.PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合

RTE シリーズの PCI ボードを初めて PCI バスに挿した後、Windows98 を起動した場合の手順 を以下に説明します。

 Windows98 を起動した時、新しいハードウェアが検出された、という内容のダイアログ が表示された後、暫くすると『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表 示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	۴
	次の新しいドライバを検索しています: PCI Card デパイス、ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
	〈 戻る(3) ( )次へ > ( キャンセル

2)次のダイアログが表示されますから、『特定の場所にある全てのドライバー覧を作成し、インストールするドライバを選択する』を選択し、[次へ >]ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	9 2
	検索方法を選択してください。
	○ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)
	● 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する
	(戻る(日) 次へ ) キャンセル

3)次のダイアログで『その他のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックして ください。



4) 次のダイアログで『サポート外のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリック してください。

新しいハート	ウェアの追加ウィザード
<b>}</b>	ハードウェアの製造元とモデルを選択してください。 ディスクに更新されたドライバがある場合 (ま、「ディスクの使用」をクリックします。 更新されたドライバをインストールするには、「次へ」 をク リックしてください。
モデル( <u>D</u> ):	
	N07/N12
	ディスク使用(出)
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

5) 『ドライバ更新の警告』ダイアログが表示されますので、[はい (Y)] ボタンをクリック してください。

ドライバ更	新の警告 🛛 🕺
	このドライバは、選択したハードウェア用に設計されていない可能性があり、インストールしても正しく動作しない場合があり ます。このドライバを使用しますか?

6) 次のダイアログで [次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	新していードウェアの追加ウィザード		
	▶ 次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。: サポート外のデバイス このデバイス用に選択したドライバをインストールする準備ができました。別のドライバを選択する場合は、UES3 をクリックしてください。D次 へ】をクリックすると読行します。 ドライバのある場所:		
	C:¥WINDOWS¥INF¥MSDETINF く戻る(B) 「次へ>」 キャンセル		
<ul> <li>『ドライバのある場所』</li> <li>す。</li> </ul>	] で示されるパスは、上記の図と異なる場合がありま		

7) 次のダイアログで [完了] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザート	ς.
	ジャート外のデバイス 新し、いヽードウェア デバイスに必要な選択したソフトウェアがインストー ルぞれました。
	〈 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

以上で、ボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で『システム』を起動し『システムのプロパティ』ダ イアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タブで確認できます。



### 5.11.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

Windows98 をインストールする前からボードが PCI バスに挿されていた場合や、手順を誤っ てドライバの組み込みを行わなかった場合に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明しま す。

ドライバが組み込まれていない場合、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『シ ステム』を起動し『システムのプロパティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タ ブを選択し、『その他のデバイス』を選択すると以下のように『PCI Card』に!マークが表示さ れます。

システムのプロパティ	? ×
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル   パフォーマンス	
<ul> <li>● 種類肌に表示(1)</li> <li>○ 接続肌に表示(2)</li> </ul>	
コンピュータ     CD-ROM     GO-ROM     Go → CFOM     Go	
ブロパティ(R) 更新(E) 削除(E) 印刷( <u>い</u> )	
	rtzni

- 上のダイアログで、『PCI Card』を選択し [プロパティ(P)] ボタンをクリックしてください。
- 『PCI Card のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバの再インストール (I)] ボタンをクリックしてください。または、『ドライバ』タブの[ドライバの更新(U)] ボタンをクリックしてください。

PCI Cardのプロパティ	? ×
全般 ドライバ リソース	
PCI Card デバイスの種類: その他のデバイス 製造元: 指定なし ハードウェアのバージョン: 001	
ーデバイスの状態 このデバイス用のドライバはインストールされていません (Code 28)。 再度インストールするには、[ドライバの再インストール] をかりックしてくだ さい。	
ドライバの再インストールの デバイスの使用 「このハードウェア プロファイルで使用不可にする(D) マーすべてのハードウェア プロファイルで使用する(E)	
OK \$*770	ŀ

3) 『デバイス ドライバの更新ウィザード』ダイアログが表示されます。これ以降の手順は、 『5.11.1.PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同様です。

デバイス ドライバの更新ウィザー	3
	〉次のデバイスの更新されたドライバを検索します: PCI Card
	デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。
<b>1</b>	デバイス、ドライバを新しいバージョンにアップグレードすると、ハードウェ アデバイスの動作が向上したり、機能が追加されます。
	〈 戻る/母〉 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (

# 5.11.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『PCI Card』もしくは『サポート外のデバイス』をデバイス・マネージャから 削除してしまった場合、『システムのプロパティ』ダイアログの『デバイス マネージャ』タブに 『その他のデバイス』が表示されなくなるか、『その他のデバイス』は表示されるがその中に 『PCI Card』もしくは『サポート外のデバイス』が表示されなくなります。

このような場合、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『ハードウェアの追加』 を起動してプラグ アンド プレイ機器の検索を行ってください。PCI ボードが検出された以降の 手順は、『5.11.1.PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同様です。

## 5.12. Windows98-Second Edition(-SE)環境における USB ドライバの組み込み

この章では、Windows 98-SE 使用時の USB 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。



#### 5.12.1.USB 経由で初めてホストに接続した場合

RTE-2000(H)-TPをUSB 経由で初めてホストに接続した場合のドライバの組込み手順を以下に 説明します。

1) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、RTE-2000(H)-TP とホストを USB ケーブルで接続する前に、Rte for WIN32 のインストールを行ってください。



RTE-2000(H)-TP とホストを USB ケーブルで接続します。しばらくすると『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。



次のダイアログが表示されますので、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザード	
	検索方法を選択してください。
	〈 戻る(四) (次へ 〉 キャンセル

 次のダイアログが表示されますので、『検索の場所の指定』だけを選択し、ディレクトリ 名として Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをク リックして Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを指定して、[次へ >] ボタン をクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザー	<del>ا</del> م
	新しいドライバは、ハードドライブのドライバ データベースと、次の選択 した場所から検索されます。検索を開始するには、D太へ」をグリックし て(ださい。 □ フロッピー ディスク ドライブ(E) □ CD-ROM ドライブ(C) □ Microsoft Windows Update(M) □ 検索場所の指定(L) □ C\*rte4w32 ■ 参照(R)
	< 戻る(B) 次へ > キャンセル

5) 次のダイアログが表示されますので [次へ >] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの追加ウィザート	
	次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。:
	RTE-2000-TP USB Driver
	このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別 のドライバを選択するには、同気1をクリックしてください。「なへ1をクリ
	ックすると続行します。
🛛 🏵 🌚 🗌	ドライバのある場所:
	C:¥RTE4W32¥MIDASUSB.INF
	< 戻る(B) (次へ) キャンセル

6) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。



以上で、ドライバの組み込みが終わりました。正常に USB ドライバが組み込まれた時のデバ イス・マネージャの様子を次図に示します。



デバイス マネージャは次の手順で表示できます。
 [スタート メニュー] → [設定] → [コントロールパネル] で『システム』
 を起動し『システムのプロパティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タブを選択します

### 5.12.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

USB ドライバの組み込みを途中でキャンセルした場合や、デバイス・マネージャ上でドライ バを削除してしまった場合、デバイス・マネージャに RTE-2000(H)-TP 用の USB ドライバが表示 されなくなります。

このような場合は、デバイス・マネージャの『更新』ボタンをクリックするか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。しばらくする と『新しいハードウェアの追加ウィザード』ダイアログが表示されます。以降の手順は『5.12.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同じです。

#### 5.12.3. ドライバが組み込みに異常がある場合

何らかの原因により USB ドライバが正常に組み込まれていない場合、デバイス・マネージャ に下図のように表示されることがあります。

システムのプロパティ <mark>?</mark>
全般 デバイス マネージャ ハードウェア プロファイル / パフォーマンス )
<ul> <li>○ 種類肌に表示(①)</li> <li>○ 接続別に表示(②)</li> </ul>
_ プロパティ(R) 更新(E) 削除(E) ED刷(M)
閉じるキャンセル

このような場合は、デバイス・マネージャで『RTE-2000-TP USB Interface』を選択した状態で、の『プロパティ(R)』ボタンをクリックしてください。

すると『RTE-2000-TP USB Interface のプロパティ』ダイアログが開きますので、『ドライバの

再インストール(I)』ボタンをクリックしてください。すると『デバイスドライバの更新ウィザード』ダイアログが表示されます。以降の手順は『5.12.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同じです。

RTE-2000-TP USB Interfaceのプロパティ	? ×
全般 ドライバ	
RTE-2000-TP USB Interface デバイスの種類: その他のデバイス 製造元: 指定なし	
ハードウエアのハーション: 16年間なし ニデバイスの状態	_
このデバイス用のドライバはインストールされていません (Code 28)。 再度インストールするには、「ドライバの再インストール」をクリックしてくだ さい。	
<b>ドライバの再インストール</b> Φ	
デバイスの使用	
▼ すべてのハードウェア ブロファイルで使用する(5)	
OK	216

5.13. Windows 2000 環境における PC-CARD ドライバの組み込み

この章では、Windows 2000 使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順について説明 します。

5.13.1.PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合

PC-CARD インターフェースを初めて PC-CARD ドライブに挿した場合のドライバの組み込み 手順を下記に示します。

- 1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。
- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿す前に、Rte for WIN32 のインストールを行ってください。

 Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアの検出ウィ ザード』が起動している状態で行っても構いません。

 PC-CARD(PCMCIA)インターフェースを PC-CARD 用のソケットに差し込みます。する と新しいハードウェアが検出された、という内容のダイアログが表示された後、しばら くすると『新しいハードウェアの検出ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。



次のダイアログが表示されますから、『デバイスに最適なドライバを検索する』を選択し、
 [次へ >] ボタンをクリックしてください。



5) 次のダイアログで『場所を指定』だけを選択して、[次へ >] ボタンをクリックしてく ださい。

新しいハードウェアの検出ウィザード
ドライバ ファイルの特定 ドライバ ファイルをどこで検索しますか?
次のハードウェア デバイスのドライバ ファイルの検索
KMC/MEC ICE-IF_10
ー このコンピュータ上のドライバ データベースおよび指定の検索場所から適切なドライバを検索します。
検索を開始するには、 じかく〕 をクリックしてください。 フロッピー ディスクまたは CD-ROM ドライブで検索して いる場合は、 フロッピー ディスクまたは CD を挿入してから じかく〕 をクリックしてください。
検索場所のオプション
「フロッピー ディスク ドライブ(型)」
✓ 場所を指定(S)
☐ Microsoft Windows Update(M)
< 戻る(B) 次へ(W) > キャンセル

次のダイアログで『製造元のファイルのコピー元』に Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをクリックして Rte for WIN32 のインストール先ディレクトリを指定して、[OK] ボタンをクリックしてください。



7) しばらくドライバ・ファイルの検索が行われた後、次のダイアログが表示されますので、
 [次へ>] ボタンをクリックしてください。



✔ 上記ダイアログで表示されるパスは、Rte for WIN32 をインストールしたデ ィレクトリになります。

 ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	RTE PC-Card Interface
	このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。
125	
ەت 🚺	ウィザードを閉じるには「完了」をクリックしてください。
	< 第3(8) <b>第7</b> キャンセル

以上で、ボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイス マネージャで確認できます。




5.13.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

ドライバの組み込みの手順を間違えた等の理由で、ドライバの組み込みを行わなかった場合 に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』に!マークが表示されます。



デバイス マネージャは次の手順で起動できます。
 [スタート メニュー] → [設定] → [コントロールパネル] で『システム』
 を起動します。起動した『システムのプロパティ』で [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。

- 1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。
- Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- デバイス マネージャで『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』を選択し[操作] メニューから [プロ パティ]を選択してください。
- 4) 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0 のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバ] タ ブを選択し[ドライバの更新] ボタンをクリックしてください。



5) 『デバイス ドライバのアップブレード ウィザード』ダイアログが表示されます。これ 以降の手順は、『5.13.1.PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合』と 同様です。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザ	-k
	テバイス ドライバのアップグレード ウィザードの開 始
	このウィザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのアッ ブグレードを行います。
	1994
	続行するには、し次へ」をクリックしていたさい。
	< 戻る(8) (次へ(10)) キャンセル

# 5.13.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは『RTE PC-Card Interface』をデバイス・マネ ージャから削除してしまった場合、デバイス マネージャに『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』もしくは 『RTE PC-Card Interface』が表示されなくなります。

このような場合、[スタート メニュー] → [設定] → [コントロールパネル] で『ハードウ ェアの追加と削除』を起動してプラグ アンド プレイ機器の検索を行うか、PC-CARD を一旦ソ ケットから抜いてから再度挿しなおしてください。PC-CARD が検出された以降の手順は、 『5.13.1.PC-CARD インターフェースを初めてスロットに挿した場合』と同様です。



# 5.13.4.KMC 社製 PC-CARD ドライバ

この章では、既に Rte for WIN32 用の PC-CARD ドライバが組み込まれている状態で、京都マ イクロコンピュータ株式会社(以降 KMC 社)製の PARTNER-ETII/J/N64 対応 PC-CARD 用ドラ イバへ入れ換える手順を示します。

Rte for WIN32 は、KMC社製のドライバが組み込まれている状態でも正常に動作します。しか し、KMC社のPARTNER-ETII/J/N64 はKMC社製のドライバが組み込まれていないと動作しませ ん。したがって、<u>同じパソコン上でRte for WIN32 とPARTNER-ETII/J/N64 をPC-CARDインター</u> フェースでご使用になる場合は、KMC社製のPC-CARDドライバを組み込む必要があります。

以下では、既に Rte for WIN32 用の PC-CARD ドライバが既に組み込まれている状態から、KMC 社製のドライバへ入れ換える手順を示します。

RTE for WIN32 用の PC-CARD ドライバが組み込まれている場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように『RTE PC-Card Interface』が表示されます。



- 1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。
- 2) KMC 社製の PC-CARD ドライバのインストーラを実行し、ドライバ・ファイルを解凍 してください。
- デバイス マネージャで『RTE PC-Card Interface』を選択し[操作] メニューから[プロ パティ]を選択してください。

4) 『RTE PC-Card Interface のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバ] タブを選択し[ドライバの更新]ボタンをクリックしてください。

RTE PC-Ca	rd Interfaceのプロパ	7≺		? ×
全般	「ライバ リソース ]			1
	RTE PC-Card Inte	erface		
	プロバイダ: 日付: バージョン: デジタル <b>署名者</b> :	Midas lab.Inc. 利用できません 1.0.0.0 デジタル署名されて(	いません	
このデバ リックしま バイスの	イスで読み込まれたド す。このデバイスのドラ ドライバ ファイルを更剰	ライバ ファイルの詳細を イバ ファイルを削除する 行するには、【ドライバの見	表示するには、「ドう いには、「即除うを列 更新〕をクリックします	っていい詳細]をク ックします。このデ す。
	ドライバの詳細(型)		F57	バの更新(P))
			ОК	キャンセル

5) 『デバイス ドライバのアップブレード ウィザード』ダイアログが表示されますので [次へ] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザー	۴
	<b>デバイス ドライバのアップグレード ウイザードの開始</b> 始 このウイザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのアッ プグレードを行います。
	続行するには、「〕太へ」をクリックしてください。
	〈 戻る(日) (ホペツ) キャンセル

次のダイアログが表示されますから、『デバイスに最適なドライバを検索する』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてください。



 次のダイアログで『場所を指定』だけを選択して、[次へ >] ボタンをクリックしてく ださい。



 次のダイアログで『製造元のファイルのコピー元』に KMC 社製 PC-CARD ドライバの解凍 先ディレクトリを入力するか、参照ボタンをクリックして KMC 社製 PC-CARD ドライバの 解凍先ディレクトリを指定して、[OK] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドラ	ብバወアップグレード ウィザード	×
	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、IOKI をクリックしてください。	ОК <i><b>4</b>77211</i>
	製造元のファイルのコピー元(©): C*Program Files¥KMO¥W2KDRV	参照( <u>B</u> )

 り)しばらくドライバ・ファイルの検索が行われた後、次のダイアログが表示されますので、
 [別のドライバを1つインストールする]チェックボックスをチェックして[次へ>] ボタンをクリックしてください。

ቻ/バイス ドライバのアップグレード ウィザード
<b>ドライバ ファイルの検索</b> ハードウェア デバイスのドライバ ファイル検索が終了しました。
次のデバイスのドライバが検索されました。
RTE PC-Card Interface
このデバイスには既ご適切なドライバガインストールされています。現在インストールされているドライバを使用するには、[やっとわい をジックしてくだくい。別のドライバの場所を検索するには、戻る」を、現在のドライバを用インストールするには、したく、をジックしてください。
このゲイバインに進歩る時期にデオイが時に、加水さいになっていか。一覧で表示に、それなぜいやれてめらいジオ いをすいえんやいする場合はながりエンジーなどのたましたしてしたべき。そのションしてください。 17 別のドライバを1つインストールするΦ
〈 戻る(B) (法へ(切)) キャンセル

 次のダイアログで、『検出されたドライバ ファイル』として、Rte for WIN32 用のドラ イバと KMC 社製のドライバが表示されますので、KMC 社製ドライバを選択して [次へ >] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード			
<b>検出されたドライバ ファイル</b> どのドライバをインストールしますか?			$\geq$
RTE PC-Card Interface	e		
このデバイスに適したドライバが見つか [次へ] をクリックしてください。	りました。どれか 1 つをインストー	-ルする場合は、一覧から選択して	
説明	プロバイダ	製造元	
RTE PC-Card Interface	Midas lab,Inc.	Midas lab,Inc.	
KMC PARTNER-ET2 PC-CARD	I/F Kyoto Micro Computer	CO.,LTD. Kyoto Micro Compute	
•		Þ	
	〈 戻る(8)	次へ(11)> キャンセル	

11) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザード	
<b>デパイスド</b> デパイス ド ・ このデバイスにす このウィザードを閉じる	ラ <b>イパのアップグレード ウィザードの完</b> > PARTNER-ET2 PO-CARD I/F ぼるソフトウェアのインストールが除了しました。 こは [死了] をクリックしてください。
	< 戻る(B) <b>売7</b> キャンセル

以上でドライバの入れ換えが終わりました。組み込まれた様子は、デバイス マネージャで確認できます。



# 5.14. Windows 2000 環境における PCI ドライバの組み込み

この章では、Windows 2000 使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

### 5.14.1. PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合

RTE シリーズの PCI ボードを初めて PCI バスに挿した後、Windows 2000 を起動した場合の手順を以下に説明します。

- 1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。
- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。

Rte for WIN32 のインストールは、下記の『新しいハードウェアの検出ウィ ザード』が起動している状態で行っても構いません。

3) ログインした時、新しいハードウェアが検出された、という内容のダイアログが表示された後、しばらくすると『新しいハードウェアの検出ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。



次のダイアログが表示されますから、『デバイスに最適なドライバを検索する』を選択し、
 [次へ >] ボタンをクリックしてください。



5) 次のダイアログで『場所を指定』だけを選択して、[次へ >] ボタンをクリックしてく ださい。



 次のダイアログで『製造元のファイルのコピー元』に Rte for WIN32 のインストール先 ディレクトリを入力するか、参照ボタンをクリックして Rte for WIN32 のインストール 先ディレクトリを指定して、[OK] ボタンをクリックしてください。

新しいハード	ウェアの検出ウィザード	×
	製造元が配布するインストールディスクを指定したドライブに挿入 して、(OKI をクリックしてください。	OK キャンセル
	製造元のファイルのコピー元(©): C:¥rte4w32	参照(8)

7) しばらくドライバ・ファイルの検索が行われた後、次のダイアログが表示されますので、
 [次へ>] ボタンをクリックしてください。

新しにいトードウェアの検出ウィザード
<b>ドライバ ファイルの検索</b> ハードウェア デバイスのドライバ ファイル検索が終了しました。
次のデバイスのドライバが検索されました。
PCI Device
このデバイスのドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには、D太へJ をクリックしてくださ い。
c.¥rte4w32¥midas.inf
〈戻る(8) (次へ(10)) キャンセル
ダイアログで表示されるパスは、Rte for WIN32 をインス
<b>1 トリになります。</b>

8) ドライバ・ファイルのコピーが行われた後、次のダイアログが表示されますので、[完 了] ボタンをクリックしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
	新しいハードウェアの検索ウィザードの完了
	RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series
	このデバイスに対するソフトウェアのインストールが終了しました。
125	
Ξσ	ウィザードを閉じるには【完了】をクリックしてください。
	< 戻る(日) <b>売了</b> キャンセル

以上で、ボードの検出とドライバの組み込みが終わりました。組み込まれた様子は、デバイ スマネージャで確認できます。



# 5.14.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバ組み込み

Windows 2000 をインストールする前からボードが PCI バスに挿されていた場合や、手順を誤ってドライバの組み込みを行わなかった場合に、後からドライバを組み込む手順を以下に説明します。

ドライバが組み込まれていない場合、デバイス マネージャを起動すると以下のように『PCI Device』に!マークが表示されます。

🚇 इंग्लित एक-छंभ
」 操作(④) 表示(◎) (← →) (㎜) 10 (12 ) 13   23   23   23   23   23   23   23
□       TAI2         0:00000000000000000000000000000000000
ノハリハッキーノッはヘリナ順に起動してより。

【スタート メニュー] → [設定] → [コントロールパネル] で『システム』 を起動します。起動した『システムのプロパティ』で [ハードウェア] タブ の [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。

- 1) Administrator 権限を持つユーザ(管理者)でログインしてください。
- 2) Rte for WIN32 のインストールを行っていない場合は、Rte for WIN32 のインストールを 行ってください。
- 3) デバイス マネージャで『PCI Device』を選択し[操作] メニューから [プロパティ] を 選択してください。
- 『PCI Device のプロパティ』ダイアログが表示されますので、[ドライバの再インストール(I)] ボタンをクリックしてください。または、『ドライバ』タブの[ドライバの更新(U)] ボタンをクリックしてください。

PCI Device(	Dプロパティ			? ×
全般	ライバ リソース ]			
$\diamond$	PCI Device			
	プロバイダ: 日付: バージョン: デジタル署名者:	不明 利用できません 利用できません デジタル署名されて(	いません	
ドライバ、 ドライバ 更新する	ファイルが必要でないオ ファイルを削除するには いこは、「ドライバの更新	か、またはこのデドイスで 、「周順彩」をクリックしま 1] をクリックします。	読み込まれています。このデバイスのド	。このデバイスの ライバ ファイルを
	ドライバの詳細( <u>D</u> )		<u> </u>	の更新( <u>P)</u> )
			ОК	キャンセル

5) 『デバイス ドライバのアップブレード ウィザード』ダイアログが表示されます。これ 以降の手順は、『5.14.1.PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』 と同様です。

デバイス ドライバのアップグレード ウィザ	-F
	デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの開 始 <u>このウィザードでは、ハ</u> ードウェア デバイス用のデバイス ドライバのアッ
	フクレードを行います。 続行するには、 Dxへ] をグリックしてください。
	< 戻る(日) 次へ(10) キャンセル

# 5.14.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で『PCI Device』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』をデバ イス・マネージャから削除してしまった場合、『PCI Device』もしくは『RTE PCI Host Interface Card or RTE-PC Series』が表示されなくなります。

このような場合、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『ハードウェアの追加 と削除』を起動してプラグ アンド プレイ機器の検索を行ってください。PCI ボードが検出され た以降の手順は、『5.14.1.PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場合』と同 様です。

# 5.15. Windows 2000 環境における USB ドライバの組み込み

この章では、Windows 2000 使用時の USB 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

# 5.15.1.USB 経由で初めてホストに接続した場合

RTE-2000(H)-TP を USB 経由で初めてホストに接続した場合のドライバの組込み手順は、PCI ボードの場合と同じです。『5.14.1 PCI ボードを初めて PCI バスに挿して Windows を起動した場 合』を参照してください。

正常に USB ドライバが組み込まれた時のデバイス・マネージャの様子を下図に示します。



デバイス マネージャは次の手順で起動できます。
 [スタート メニュー]→ [設定] → [コントロールパネル] で『システム』
 を起動します。起動した『システムのプロパティ』で [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。

#### 5.15.2. ドライバが組み込まれていない場合の後からのドライバの組み込み

USB ドライバの組み込み中にキャンセルした場合、USB ドライバが組み込まれていない状態 になります。この時のデバイス・マネージャの様子を下図に示します。



このような状態の場合は、デバイス・マネージャの『操作』メニューから『ハードウェア変 更のスキャン』を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動しま す。これ以降の手順は『5.15.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同様です。

# 5.15.3. ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合

何等かの理由で USB ドライバをデバイス・マネージャから削除してしまった場合、 RTE-2000(H)-TP を示す USB デバイスがデバイス・マネージャに表示されなくなります。

このような場合は、デバイス・マネージャの『操作』メニューから『ハードウェア変更のス キャン』を選択するか、RTE-2000(H)-TP から USB ケーブルを抜き、少し待ってから再度 USB ケーブルを挿してください。すると『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動します。こ れ以降の手順は『5.15.1 USB 経由で初めてホストに接続した場合』と同様です。

### 5.16. Windows 95 の見分け方

Windows 95 には、一般的に OSR2 と呼ばれる Windows 95 (以降「Windows 95 (OSR2)」) と、 そうでない Windows 95 (以降「Windows 95 (否 OSR2)」) があります。この 2 つの Windows 95 では、カード個別ドライバの組み込みにおいて手順に違いがあるため、次章以降でそれぞれの場 合について、手順を説明します。

これらの2つのWindows 95を見分ける方法は、次の通りです。

- 1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で『システム』を起動します。
- 『システムのプロパティ』の『情報』タブの『システム』部分に表示されている数 字を確認します(下図参照)。このバージョンが『4.00.950 B』もしくは『4.00.950 C』 の場合は、Windows95 は OSR2 です。(OSR2 以外では『4.00.950』か『4.00.950a』の 表示になります)



5.17. Windows 95 (否 OSR2) 環境における PC-CARD ドライバの組み込み

この章では、Windows 95(否 OSR2)使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

PC-CARD インターフェースには特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドラ イバを組み込みます。

標準のドライバの組み込み手順を下記に示します。

 PC-CARD インターフェースを PC-CARD 用ソケットに挿し込みます。すると『新しいハ ードウェア』ダイアログが表示されるので、『一覧から選ぶ』を選択しOKボタンをクリ ックしてください (パソコンによってはこのダイアログが表示されるまで暫く時間がか かることがあります)。

	新し、いっトウェア ? ×
	KMC/MEC-ICE-IF 1.0
	~新していたア用にインストールするトライバを選択してください。
	€ Windows 標準のドライが0 <u>0</u>
	○ ハードウェアの製造元が提供するドライバ型
	<ul> <li>一覧から選ぶ(S)</li> </ul>
	○ ドライハをインストールしなし(D)
	OK         キャンセル         ヘルプ(円)
Dを	

 PC-CARD を挿しても『新しいハードウェア』ダイアログが表示されない場合や、ドライバが組み込まれた時に『ブーッ』というような音がした場合は、PC-CARD のカードサービスが正常に動作していない可能性があります。 『5.24.PC-CARD が認識されない時のヒント(Windows 95/98)』を参照してカードサービスが正常に動作するようにしてください。 次に『ハードウェアの種類の選択』ダイアログが表示されますので、『その他のデバイス』を選択してOKボタンをクリックしてください。

ハートウェアの種類の選択	×
インストールするハートウェアの種類を選んでください。	
CD-ROM 12/40-5 CD-ROM 12/40-5 Memory Technology Drivers (MTD) PO(K14, Y7) SOS1 12/40-7 キャーペート サッパン、ビデオ、およどが〜ムのコン40-5 ジズを4 オンイス	
その他のテアイス ディスクトライプ	
ок <del>1</del> +уел	

 次に『デバイスの選択』ダイアログが表示されますので、『サポート外のデバイス』を選 択してOKボタンをクリックしてください。するとカード個別ドライバがインストール され PC-CARD インターフェースが認識されます(この時カードを認識したことを知ら せる『ピポッ』というような音がなります。

デバイスの	選択
2	ハードウュアと一致するその他のデバイスをクリックして、[0K] を押してくださ し、 モジルがわからないとさば、[0K] を押してください、このデバイス のインストール ディスクをお持ちの場合は、[ディスク使用] を押してください。
デルϢ	:
54~~*外	›፡፡ እንታ <sup>*</sup> ዘ <sup>*</sup> ለአ
	ディスク使用(出)
	ок <b>+</b> +)til
	<u>ディスン</u> 使用① <u>の</u> K <u>キャン</u> 地

5.18. Windows 95 (否 OSR2) 環境における PCI ドライバの組み込み

この章では、Windows95 (否 OSR2)使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明 します。

PCI インターフェースには特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドライバを 組み込みます。

標準のドライバの組み込み手順を下記に示します。

PCI インターフェースをインストールしたのち、Windows 95 起動時に PCI ドライバのインストールダイアログ・ボックスが表示されます。ここでは、「一覧から選ぶ」または「ドライバをインストールしない」をチェックして、[OK] をクリックしてください。

新しん いっトウェア ? 🔀
PCI Card
新しいがトトリエノ用にインストールするトラインで連載化してください。
C Windows 標準のトライバ(型)
○ ハートウェアの製造元が提供するトライパ(M)
○ 一覧から選ぶ(S)
○ ドライハをインストールしない(D)
OK キャンセル ヘルフ*(H)

次に『ハードウェアの種類の選択』ダイアログが表示されますので、『その他のデバイス』を選択してOKボタンをクリックしてください。

ハートウェアの種類の選択	×
インストールするハートウェアの種類を選んでください:	
CD-ROM CD-ROM コントローラ Memory Technology Drivers (MTD)	
PCMCIA 7996 SCSI コントローラ キーボード サウンド ドラジオ キントスポケシントのついまつこう	l
マクトーマント(05年C07) ムのコントローク システム デバイス ディスクトライフ	1
	1

3)次に『デバイスの選択』ダイアログが表示されますので、『サポート外のデバイス』を選 択してOKボタンをクリックしてください。

デバイスの	選択 🛛 🗙
<b>%</b>	ハードウニアと一致するその他のデバイスをクリックして、[0K] を押してくださ し、 モデルがわからないときは、[0K] を押してください。このデバイス のインストール ディスクをお持ちの場合は、[ディスク使用] を押してください。
₩L)	
54*~卜夕	ትወታ <sup>ະ</sup> በ* 13
	ディスク使用( <u>H</u> )
	ок <u></u> ++уъ

5.19. Windows 95 (OSR2) 環境における PC-CARD ドライバの組み込み

この章では、Windows 95 (OSR2) 使用時の PC-CARD 用個別ドライバの組み込み手順につい て説明します。

PC-CARD インターフェースには特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドラ イバを組み込みます。

標準のドライバの組み込み手順を下記に示します。

 PC-CARD(PCMCIA)インターフェースを PC-CARD 用のソケットに差し込みます。する と新しいハードウェアが検出された、という内容のダイアログが表示された後、暫くす ると『デバイス ドライバ ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタ ンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このウィザードで、次のインストールができます。 KMC/MEC-ICE-IF 1.0 最新のドライバをローカル ドライブ、ネットワークおよびインターネットから検 出します。 このデバイスIC付属のフロナビーディスクまたは CD-ROM がある場合 は挿入してください。 更新されたドライバを自動的に検出することをお勧めします。「次 へ」を別ックすると自動検出が始まります。
	< 戻る(四) (次へ) +ャンセル
PC-CARD を挿しても	も『新しいハードウェア』ダイアログが表示
合や、ドライバが組み	み込まれた時に『ブーッ』というような音が

PC-CARD を挿しても『新しいハードウェア』ダイアログが表示されない場合や、ドライバが組み込まれた時に『ブーッ』というような音がした場合は、 PC-CARD のカードサービスが正常に動作していない可能性があります。 『5.24.PC-CARD が認識されない時のヒント(Windows 95/98)』を参照してカ ードサービスが正常に動作するようにしてください。

 ドライバの検索ダイアログが表示されますが、暫くすると次図のダイアログが表示され ますので、[完了] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用のトライハが見つかりませんでした。 トライハをここでインストールしないは易合は、「完了」 を別ったします。 自 分でトライハを検索する場合は、「場所の指定」を別ったます。 自 動検索を始めるには、「戻る」 を押してください。
<b>~</b>	場所の指定(2)
	〈 戻る(8) 「売了」 キャンセル

 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で『システム』を起動し『システムのプロパティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タブを選択します。一覧中に『その他のデバイス』が表示されますので、これをダブルクリックするか、左側の+記号をクリックすると『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』が表示されますので、これを選択し [プロパティ(P)]ボタンをクリックします。



『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』に!マークが付いていますが問題ありません。

4) 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0 のプロパティ』ダイアログが表示されますので、『ドライバ』タ ブを選択し、[ドライバの更新(U)] ボタンをクリックしてください。

KMC/MEC-ICE-IF 1.0のプロパティ	? ×
情報「ドライハ」リソース	
2	
製造元:	
日付:	
バージョン: 情報なし	
このデバイスlこは、ドライバファイルが必要でないか、または読み込ま ていません。	n
ドライバ・ファイルの詳細の	<u></u>
OK 4++	ソセル

5) 『デバイス ドライバ ウィザード』ダイアログが表示されますので、『一覧からドライバ を選ぶ(N)』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライハ゛ウィザート゛	
	このウィザートで、ローカルドライブ、ネットワーク、インターネットで次のデバイス の更新されたドライバを探すことができます: KMC/MEC-ICE-IF 1.0
	このデバイスの更新されたドライバが入っているフロゼー ディスクまた  は CD-ROM がある場合は、挿入してください。
	更新されたドライバを自動的に検出することをお勧めします。[次 へ] を別ックすると自動検出が始まります。
	自動検出をしますか?
<b>~</b>	<ul> <li>○ はい (通常はこちらを選んでください) (か)</li> <li>○ 一覧からドライハを選ぶ(い)</li> </ul>
	〈 戻る(13) 次へ > キャンセル

6) 次のダイアログで『その他のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックして ください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	下の一覧からデバイスの種類を違び、「したへ」を押してください。
	CD-ROM 12/10-5 Memory Technology Drivers (MTD) PCMCIA /77/h SCSI 12/h0-5 キーボード グローバル ポッショニング デパイス ザ22/ド、ビデオ、あよびゲームのコントローラ
<b></b>	2.275 77112 ★2014(0)計21(2 < 戻る(B) 次へ> キャンセル

次のダイアログで『サポート外のデバイス』を選択して、[完了] ボタンをクリックしてください。この操作により、ドライバがロードされ PC-CARD が使用可能になります。

デバイストラ	ብለ <sup>®</sup>
<b>%</b>	ハートウェアの製造元とモデルを選び、「完了」 を炒ックするとそのハートウェア用の更新された ドライハがインストールされます。 自動的に更新されたドライルを検出する場合は、「戻る」 を押してください。
モデジル(D)・	
<u> </u>	(077)*121
	( 戻る(回) 完了 キャンセル

8) 『システムのプロパティ』ダイアログの『デバイス マネージャ』タブで確認すると、 『KMC/MEC-ICE-IF 1.0』が『サポート外のデバイス』に変わり、!マークが表示されな くなります。



5.20. Windows 95 (OSR2) 環境における PCI ドライバの組み込み

この章では、Windows95 (OSR2)使用時の PCI 用個別ドライバの組み込み手順について説明します。

PCI インターフェースには特別なドライバは必要ないため、標準で用意されているドライバを 組み込みます。

標準のドライバの組み込み手順を下記に示します。

 RTE シリーズを PCI バスに挿し、最初に Windows95 を起動した時、新しいハードウェア が検出された、という内容のダイアログが表示された後、暫くすると『デバイス ドライ バ ウィザード』ダイアログが表示されるので、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このウィザードで、次のイソストールができます。 PCI Card 最新のドライハギローカルドライフ、ネットワークおよびイソターネットから検 出します。 このデバイスに付属のフロ・ビーディスクまたは CD-ROM がある場合 は挿入してください。 更新されたドライハ茶自動的に検出することをお勧めします。 [次 へ] を別ックすると自動検出が始まります。
	< 戻る(日) 次へ> キャンセル

 ドライバの検索ダイアログが表示されますが、暫くすると次図のダイアログが表示され ますので、[完了] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このデバイス用のトライバが見つかりませんでした。 トライハをここでインストールない場合は、「完了」を効ックします。 自 分でトライルを検索する場合は、「場所の指定」を効ックします。 自 動検索を始めるには、「戻る」を押してください。
<b>~</b>	場所の指定(2)
	〈 戻る(四) 「 完了 」 キャンセル

3) [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] で『システム』を起動し『システムのプロパティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タブを選択します。一覧中に『その他のデバイス』が表示されますので、これをダブルクリックするか、左側の+記号をクリックすると『PCI Card』が表示されますので、これを選択し[プロパティ(P)] ボタンをクリックします。

● 種類別に表示(T)	○ 接続	調に表示( <u>c</u> )	
<ul> <li>⇒ 1)ビュータ</li> <li>⇒ CD-ROM</li> <li>⇒ CD-ROM</li> <li>⇒ SCSI 1)/h□-j</li> <li>⇒ オーボード</li> <li>⇒ ジスブム デバイス</li> <li>⇒ ジスブム デバイス</li> <li>⇒ ジイスクト・ライブ</li> <li>⇒ ディスクト・ライブク</li> <li>⇒ オットワーク アダブ 3</li> <li>⇒ オットワーク アダブ 3</li> <li>⇒ オットワーク アダブ 3</li> <li>⇒ オットワーク アメウブ 3</li> <li>⇒ マリーク アメ 1</li> <li>⇒ マリーク アマントロー・</li> <li>⇒ マリス</li> <li>⇒ モニター</li> </ul>	; -7		
7°ロハ°ティ( <u>R)</u>	[新( <u>F</u> )	削除( <u>E</u> )	ED.刷(N).

# 【● 『PCI Card』には!マークが付いていますが問題ありません。

 『PCI Card のプロパティ』ダイアログが表示されますので、『ドライバ』タブを選択し、 [ドライバの更新(U)]ボタンをクリックしてください。

PCI Cardのプロパティ	? X
情報「ドライバ」リソース	
- <mark> </mark>	
製造元:	
日付:	
ハーション: 情報なし	
このデバイスにコは、ドライバ・ファイルが必要でないか、または読み込まれ ていません。	ı
トゥイル、17イルの詳細(の)	2
ОК <b>+</b> +у	tu I

5) 『デバイス ドライバ ウィザード』ダイアログが表示されますので、『一覧からドライバ を選ぶ(N)』を選択し、[次へ >] ボタンをクリックしてください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	このウィザートで、ロー加トドライア、ネットワーク、インターネットで次のデバイス の更新されたトライバを探すことができます: PCI Card
	このデバイスの更新されたドライバが入っているフロッピー ディスクまた lま CD-ROM がある場合は、挿入してください。
	更新されたドライバを自動的に検出することをお勧めします。[次 へ] をツックすると自動検出が始まります。
	自動検出をしますか?
	<ul> <li>○ はい (通常はこちらを選んでください) (Y)</li> <li>○ 一覧からドライハを選ぶ(IN)</li> </ul>
	〈 戻る(8) 次へ 〉 キャンセル

6) 次のダイアログで『その他のデバイス』を選択して、[次へ >] ボタンをクリックして ください。

デバイス ドライバ ウィザード	
	下の一覧からデバイスの種類を選び、「次へ」を押してください。
	CD-ROM ユノトローラ CD-ROM ユノトローラ Memory Technology Drivers (MTD) PCMCIA パワット SOSI ユントローラ キーボード ケローバル ホッショニング・デパイス サワンド、ビデオ、ホルモグタームのコントローラ
*	システム デバイス その 州20 0 デ バイス < 戻る(B) 次へ > キャンセル

次のダイアログで『サポート外のデバイス』を選択して、[完了] ボタンをクリックしてください。

デバイストラ	፡/ እና ウィザード
₽ <b>₽</b>	ハートウェアの製造元とモデルを選び、「完了」 を炒ックするとそのハートウェア用の更新された ドライハがイノストールされます。 自動的に更新されたドライハを検出する場合は、「戻る」 を押してください。
モデル(D):	
サホートタ	107771X
	< 戻る( <u>B</u> ) 完了 キャンセル

 8) 『システムのプロパティ』ダイアログの『デバイス マネージャ』タブで確認すると、 『PCI Card』が『サポート外のデバイス』に変わり、!マークが表示されなくなります。



5.21	. Windows	XP,	Windows	2000	および	Windows	NT	4.0 環境における	5 RTE I/O	ドライ	バの組み込
	み										

Windows XP, Windows 2000 および Windows NT 4.0 で I/O ポートをアクセスするインターフェ ース(PC-CARD, Host Card, I/O ポート, PCI)を使用する場合は、RTE I/O ポートドライバをインス トールする必要があります。このドライバのインストールとアンインストールは、setup.exe によ り自動的に行われます。

Check RTE2 は、RTE I/O ドライバのレジストリキーとして以下のエントリを作成します。

HKEY LOCAL MACHINE ¥ System ¥CurrentControlSet ¥Services ¥RTEDEV

また、ドライバ・ファイルは、RTEDEV.SYS です。

#### 5.22. Windows NT 4.0 環境における RTE PC-CARD ドライバの組み込み

Windows NT 4.0 で PC-CARD インターフェースを使用する場合は、RTE PC-CARD ドライバを インストールする必要があります。このドライバのインストールは、setup.exe を起動した時に最 初のダイアログの「PC カードドライバもインストールする」チェックボックスをチェックする ことで行います。アンインストールは、setup.exe でアンインストールを行えば、自動的にアンイ ンストールされます。

Check RTE2 は、RTE I/O ドライバのレジストリキーとして以下のエントリを作成します。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Services¥Pcmcia¥DataBase¥KMC/MEC¥ また、ドライバファイルは、RTEPCIF.SYS です。

#### 5.23. Windows NT 4.0 環境における PC-CARD インターフェースの制限事項

Windows NT 4.0 環境で PC-CARD インターフェースをお使いになる場合、PC-CARD インターフェースが I/O アドレスの 220H 番地に割り付いていないと正常に動作しません。

Windows NT 4.0 環境において PC-CARD インターフェースを用いている場合で、「Check RTE2」の接続確認で失敗する場合、I/O の割り付けアドレスが 220H になっているかどうか確認 してください。

I/O の割り付けアドレスが 220H になっていない場合、220H 番地に割り付いている他の資源を 他のアドレスに割り付けることで、PC-CARD インターフェースを 220H 番地に割り付けできま す。220H 番地に割り付いている他の資源の種類により、その割り付けアドレスを変更する方法 には下記のような方法があります。

- ・220H 番地に割り付いている資源が ISA バスのカードの場合、ディップ・スイッチやユー ティリティで割り付け I/O アドレスを変更できる場合があります。
- ・220H 番地に割り付いている資源用のドライバの添付ソフト、もしくはインストーラで割り付けアドレスを変更できる場合があります。
- ・220H 番地に割り付いている資源がマザー・ボードのオンボード機能の場合や、ノートパ ソコンの内蔵機能の場合、BIOS の設定により割り付け I/O アドレスを変更できる場合が あります。
- ・220H 番地に割り付いている資源がマザー・ボードのオンボード機能の場合や、ノートパ ソコンの内蔵機能の場合、BIOS の設定によりその機能を無効に設定することができる場 合があります。このような場合、その機能を無効にした状態でパソコンを立ち上げると、 PC-CARD インターフェースが 220H 番地に割り付きます。この状態で、パソコンを一旦 シャットダウンし、無効になっていた機能を有効にすると、その機能の割り付けアドレ スが 220H 以外になる場合があります。
- ・220H 番地に割り付いている資源が PCI ボードの場合、そのボードを取り外した状態でパ

ソコンを立ち上げると、PC-CARD インターフェースが 220H 番地に割り付きます。この 状態で、パソコンを一旦シャットダウンし、外していたボードを元に戻してパソコンを 再起動すると、外していたボードの割り付けアドレスが 220H 以外になる場合があります。



5.24. PC-CARD が認識されない時のヒント(Windows 95/98)

PC-CARD がうまく認識できない場合、その原因のほとんどは PC-CARD のカードサービスが 正常に動作していないことが考えられます。また、カードサービスが正常に動作していない原因 のほとんどはハードウェアの設定などパソコン固有の問題であり、ここで全てのケースについて 説明できませんが、一般的に考えられる問題の対処方法を説明することで、問題解決のヒントを 示します。

### 5.24.1. 『新しいハードウェア』ダイアログが表示されない

カード固有のドライバを組み込む際に『新しいハードウェア』ダイアログが開かなかった場 合や、間違って組み込んでしまったため既に組み込まれているカード固有のドライバを取り替え たい場合の手順を下記に示します。

 PC-CARD インターフェースがソケットに挿さっている状態で、[スタート] → [設定]
 → [コントロール パネル] → [PC カード(PCMCIA)] で『PC カード(PCMCIA)のプロパ ティ』ダイアログを表示させ、『ソケットの状態』タグを表示させます。

ዮር 肋ード (PCMCIA) ወን ቢስም 7
ソケットの状態 設定
♥C か-トを取りはずすには、一覧から選んで「終了」を押してください。①
Ÿ(サホートヤルのデハ²(ス - ソワット 1 ● (翌 - ソクット 2
終了(9)
▼ タスクバー上にコントロールを表示する(円)
▶ 終了前にかトが取りはずされたら、警告を表示する(D)
OK <b>キャンセル</b> 更新(g)

- PC-CARD インターフェースが挿さっているソケットのデバイス名(上図の場合『サポ ート外のデバイス』ですが間違った PC-CARD 固有ドライバを組み込んでしまった後で は異なることがあります)を覚えておきます。
- [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]で『システムのプロ パティ』ダイアログを表示させ、『デバイス マネージャ』タグを選択します。ここで 2)のデバイスを探し選択します。
- 2)のデバイスが選択されていることを確認し、『削除(E)』ボタンをクリックしデバイス を削除します(注意:間違ったデバイスを削除しないように慎重に作業してください)。
- 5) 一旦 PC-CARD インターフェースを抜き、数秒待ってから PC-CARD インターフェース を再度ソケットに挿します。すると『PC-CARD ドライバの組み込み』で説明した『新 しいハードウェア』ダイアログが開きます。これ以降の手順は各 OS のドライバの組み 込みの章を参照してください。

#### 5.24.2.PC-CARD を挿すと『ブーッ』という音がする

PC-CARD インターフェースをソケットに挿した時に『ピポッ』という感じの音ではなく、『ブ ーッ』というような音がする場合は、PC-CARD のカードサービスがうまく動作していないこと が考えられます。この原因としては PC-CARD のカードサービスの組み込み時に間違ったドライ バをインストールした、パソコンによっては BIOS の設定(ISA-BUS シェアードメモリの設定な ど)が間違っている、などの原因が考えられます。

このような場合は、パソコンもしくは PC-CARD ソケットのハードウェアに付属のマニュアル を参照して、PC-CARD のカードサービスが正常に動作するようにしてください。

# 6. エラーメッセージと対策

ここでは RTE for WIN32 の機能テスト時に表示されるエラーメッセージと、その対策について 記述します。

# COMx:がオープンできません

- ◆ 指定されたシリアル・ポートは使用できません。
- ✓ 接続するシリアル・ポートを変更してください。

### RTE-PC は I/O=XXXX:に接続されていません

- ◆ RTE-xxxx-PCのI/Oアドレスが違います。
- ✓ RTE システムのハードウェアの接続を確認してください。
- ✓ I/O アドレスを変更するかディップ・スイッチの設定を確認してください。

# 受信データ数不正

受信データ不正: xx yy != XX YY

- ◆ RTE システム側から返されたデータが不正です。
- ✓ ポート、ケーブルの不良が考えられます。RTE システムと PC の電源を一度落として、再 チェックしてください。
- ✓ シリアル・ポートの場合は、ボーレートを変更してみてください。

# データ送信不能

送信タイムアウト

- ◆ データが送信できません。
- ✓ RTE システムのハードウェアの電源が入っているかどうか確認ください。
- ✓ ポートの接続を確認してください。

# 受信エラー

- ◆ データ受信に失敗しました。
- ✓ シリアルの通信異常か、ケーブルの不良が考えられます。

# 受信タイムアウト

- ◆ RTE システム側から応答がありません。
- ✓ シリアルの通信異常か、ケーブルの不良が考えられます。
- ✓ RTE-xxxx-IE の場合、ターゲット CPU 側の電源およびクロックなどを確認ください。

# リトライ回数が多すぎます

- ◆ RTE-xxxx-PC 側からの応答が不正です。
- ✓ 再度確認ボタンをクリックして、チェックを繰り返してみてください。同じ状況の場合は、
   RTE システムと PC の電源を一度落として、再チェックしてください。

これら以外のエラーが表示された場合は、使用しているインターフェース・カードのマニュアルを参照 ください。 - Memo -

RTE for WIN32 インストール・マニュアル

M471MNL03